

添付資料

目 次

添付資料－1 高浜発電所 第3号機 保全計画（第25保全サイクル）

添付資料－1 高浜発電所 第3号機 保全計画（第25保全サイクル）

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等に関して、「高浜発電所 第3号機 保全計画（第25保全サイクル）」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。

高浜発電所 第3号機
保 全 計 画
(第25保全サイクル)

施設管理の実施に関する計画

目 次

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。） 及び期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期・・・・・・・・	1
3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期・・・・・・・・	2
4. 発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための 措置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2

別紙：点検計画（第25保全サイクル）

別図：定期事業者検査時の安全管理の計画

別表：長期施設管理方針実施状況総括表

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第25回定期事業者検査開始日から次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列する日の前日までの期間（第25回定期事業者検査終了以降13ヶ月までの間※）とし、以降、この期間を第25保全サイクルという。

ただし、この期間内に次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列した場合には、その前日までの期間とする。

※：この間を『実運転期間』という。

2. 発電用原子炉施設の工事等の方法及び時期

(1) 工事の計画

a. 蒸気発生器伝熱管補修工事：設計及び工事の計画の届出

○ 工事概要

蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査の結果、有意な信号指示が認められた伝熱管について、蒸気発生器の健全性を確保するため、メカニカルプラグにて施栓を行う。

○ 予定時期

第25回定期事業者検査期間中

b. 火災報知器設置工事：設計及び工事の計画の認可申請

○ 工事概要

新火災防護基準バックフィット対応として、火災区域に対し、異なる種類の火災感知器を消防法に準じた箇所に設置する。

○ 予定時期

第25回定期事業者検査期間中（完了予定：2024年2月）

3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期

(1) 点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「高浜発電所 保守業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・高経年化技術評価および定期安全レビュー結果
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

4. 発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。

別紙

点 検 計 画
(第 2 5 保 全 サ イ ク ル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

②保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a. 安全機能の重要度が高い設備

b. 供給信頼性重要度が高い設備

c. リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・ 定期事業者検査に係る点検
- ・ 定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{※1}の点検等）については、「高浜発電所 保守業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」及び「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に定めている。

※1：附帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフ
イス、レデューサ、フローグラス 等

(3) 保全の重要度について

「グレード分け通達(平成18原品証通達第2号)」等の考え方に従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全(時間基準保全、状態基準保全)を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・ 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・ 状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・ 事後保全を採用しているもの：BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・ 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間(総合負荷性能検査～解列)に対応した値を示している。
また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
 - ・ 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
 - ・ 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」^{※2}と表記している。なお、回転機器(ポンプ、ファン等)等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
 - ・ これ以外で、性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」^{※2}により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。
 - ・ このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
 - ・ 定期的な頻度をもたずに実施する点検については、「X」により表記している。
- ※2：「B」「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“定期事業者検査起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（定期事業者検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備を備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

なお、第25保全サイクル中に点検を実施するものについては「点検計画」に「○」※³を記載している。

また「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）※⁴も記載している。

※³：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※⁴：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあつては、最新実績を記載している。

目 次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/36
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/36
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	3/36
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[蒸気タービンの附属設備]	
[原子炉補機冷却水設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
計測制御系統施設	12/36
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[ほう素再生設備]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	15/36
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	
放射線管理施設	18/36
[放射線管理用計測装置]	
[生体遮蔽装置]	
[換気設備]	
[その他設備]	
原子炉格納施設	25/36
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	28/36
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
原子力設備・タービン設備	29/36
[その他設備]	
蒸気タービン	29/36
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[调速装置及び非常调速装置並びに调速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
補助ボイラー	33/36
その他発電用原子炉の附属施設	34/36
[浸水防護施設]	
[常用電源設備]	
[火災防護施設]	
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
土木建築設備	36/36
敷地内土木構造物	36/36
プラント総合	36/36
非常用取水設備	36/36
[取水設備]	

- 別表-1：クラス1機器供用期間中検査7年計画
 別表-2：クラス2機器供用期間中検査10年計画
 別表-3：クラス3機器供用期間中検査10年計画
 別表-4：クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査7年計画
 別表-5：クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査10年計画
 別表-6：原子炉格納容器供用期間中検査10年計画
 別表-7：重大事故等クラス1機器供用期間中検査10年計画
 別表-8：重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画
 別表-9：重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画
 別表-10：クラス1配管特別検査 3年計画

1. 点検計画

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術)	
原子炉本体 【炉心】	照射済燃料集合体	※ 1式	高	IF	○	24回	燃料集合体外観検査	※：炉心設計による	
	照射済燃料集合体 (取出燃料)	※ 1式	高	IF	○	24回	燃料集合体内配置検査	※：炉心設計による	
	燃料集合体	※ 157体	高	IF	○	24回	燃料集合体内配置検査	※：炉心設計による	
	内挿物 (1) 制御棒クラスタ (2) パーナブルボイスン (3) プラズマゲダバイス (4) 2次中性子源	※ 1式	1. 外観点検 (炉内配置)	高	IF	○	24回	燃料集合体内配置検査	※：炉心設計による
	原子炉本体のうち炉心		1. 機能・性能試験	高	IF	○	原子炉停止余裕検査 炉物理検査	定期事業者検査起動後	
	原子炉容器		1. 開放点検	高	13M	○	構造健全性検査		
	制御棒クラスタ案内管支持ピン	104本	1. 外観点検	高	3F	○	燃料取扱装置機能検査	一部先行実施	
	燃料移送装置	1式	1. 機能・性能試験 (リフトイングフレーム) 1. 機能・性能試験	高	IF	○	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査 (動作・インターロック試験等)		
	燃料取替クレーン		1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	高	39M~195M	○	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査 (動作・インターロック試験等)		
	使用済燃料ピットクレーン		1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	高	39M~195M	○	燃料取扱装置機能検査 1. 一次系換気空調設備検査 燃料取扱装置機能検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	新燃料エレベータ		高	IF	○	24回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施	
	燃料取扱建屋クレーン		高	IF	○	24回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施	
	燃料取扱工具	1式	高	12M	○	24回	燃料取扱装置機能検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施	
	燃料取扱装置	1台	高	X※	○	22回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査 (動作・インターロック試験等)	※MOX新燃料受入時のみ実施 プラント運転中又は定期事業者検査停止中	
	燃料取替装置		高	X※	○	22回	燃料取扱装置機能検査 (動作・インターロック試験等)		
	燃料取替装置		高	IF	○	24回	燃料取扱装置機能検査 (動作・インターロック試験等)		
	燃料取替装置		高・低	13M~91M	○	24回	プラント状態監視設備機能検査	一部BMあり 一部プラント運転中	
	燃料取扱装置		高	13M	○	24回	計測備系監視機能検査		
	燃料取扱装置		高	13M	○	24回	可搬型重大事故等対処設備機能検査		
	燃料取扱装置		高	13M	○	24回	1. 特性試験		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回の実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
移燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	3台	高	1Y	○	24回	可搬式重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 21回施設定期検査時に設置 21回施設定期検査より追加	
				10Y	—	—	—		
				78M	—	—	—		
	送水車	3台	高	1Y	○	—	—	可搬式重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は施設定期検査停止中 2021.3より設置
				10Y	—	—	—		
				78M	—	—	—		
	大容量ポンプ (放水用)	3台	高	1Y	○	24回	可搬式重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 21回施設定期検査時に設置 21回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No.44の反映	
				10Y	—	—	—		
				78M	—	—	—		
	移燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水ポンプ・電動機	使用済燃料ピット浄化冷却設備	1. 機能・性能試験 (ポンプ・電動機含む) 2. 分解点検 (電動機)	低	1F	○	24回	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	先行実施 (振動診断: 3M)
					78M	—	23回	—	
					CBM	—	12回	—	
A 使用済燃料ピットポンプ・電動機		1. 分解点検 (電動機) 2. 簡易点検 (潤滑油入替)	低	13M	○	24回	—	先行実施 (振動診断: 3M)	
				78M	—	24回	—		
				CBM	—	13回	—		
B 使用済燃料ピットポンプ・電動機		1. 分解点検 (電動機) 2. 簡易点検 (潤滑油入替)	低	13M	○	24回	—	先行実施 (振動診断: 3M)	
				78M	—	24回	—		
				CBM	—	13回	—		
A 使用済燃料ピットフィルタ		1. 開放点検 2. 非破壊試験	高	130M	—	18回	—	先行実施	
				195M	—	19回	—		
				195M	○	18回	—		
A 使用済燃料ピットフィルタ	1. 開放点検 (管側) 2. 非破壊試験	高	195M	○	21回	—	先行実施		
			195M	—	24回	—			
			195M	—	21回	—			
B 使用済燃料ピット冷却器	1. 開放点検 (管側) 2. 非破壊試験	高	195M	—	21回	—	先行実施		
			195M	—	21回	—			
			195M	—	24回	—			
C 使用済燃料ピット冷却器	1. 開放点検 (ガスケットハッキン取替) 2. 分解点検	高	130M	—	24回	—	先行実施		
			B	—	24回	—			
			130M	○	24回	一部先行実施			
移燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水ポンプ・電動機	移燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] その他の弁	1式	高・低	B	—	24回	1次系弁検査	一部先行実施	
				130M	—	24回	1次系弁検査		
				B	—	24回	1次系逆止弁検査		
	移燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] その他の弁駆動部	1式	高・低	65M	—	24回	1次系弁検査	一部先行実施	
				65M	—	24回	—		
				65M	○	24回	—		
	移燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] その他機器	1式	高	78M~130M	○	23回	—	一部先行実施	
				130M~130M	○	21回	—		
				B※	—	23回	1次系ポンプ機能検査		
	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	130M	—	21回	—	先行実施 (振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ	
				52M	—	23回	—		
				13M~26M	○	24回	—		
B 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	B※	○	24回	—	先行実施 (振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ		
			130M	○	19回	—			
			52M	—	24回	—			
移燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備] その他の弁	1式	高	13M~26M	○	24回	—	一部先行実施		
			B	—	22回	1次系弁検査			
			130M	○	23回	1次系安全弁検査			
移燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備] その他の弁駆動部	1式	高	B	—	23回	1次系弁検査	一部先行実施		
			156M	—	23回	—			
			104M~130M	○	24回	—			
移燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備] その他機器	1式	低	104M~130M	○	24回	—	一部先行実施 一部BMMあり 一部先行実施		
			104M~130M	○	24回	—			
			104M~130M	○	24回	—			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A 蒸気発生器	伝熱管 3, 272本	高	13M	○	24回	蒸気発生器伝熱管本体積検査		
	B 蒸気発生器	1箇所	高	13M	○	24回			
	A 蒸気発生器給水入口管台	1箇所	高	10Y	—	23回			
	B 蒸気発生器	伝熱管3, 247本	高	13M	○	24回	蒸気発生器伝熱管本体積検査		
	C 蒸気発生器	1箇所	高	13M	○	24回			
	B 蒸気発生器給水入口管台	1箇所	高	13M	○	24回			
	C 蒸気発生器	伝熱管3, 261本	高	13M	○	24回	蒸気発生器伝熱管本体積検査		
	B 蒸気発生器給水入口管台	1箇所	高	13M	○	24回			
	C 蒸気発生器	1箇所	高	10Y	—	23回			
	加圧器安全弁	3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	1. 機能・性能試験 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	1F B 13M	○ ○ ○	24回 24回 24回	加圧器安全弁機能検査 加圧器安全弁漏えい検査 加圧器安全弁分解検査	
	加圧器逃がし弁	3-PCV-454C	1. 機能・性能試験 (駆動 部含む) 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	1F 1F 26M	○ ○ —	24回 24回 24回	加圧器逃がし弁機能検査 加圧器逃がし弁漏えい検査 加圧器逃がし弁分解検査	
	加圧器逃がし弁駆動部	3-PCV-454C	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特種試験)	高	13M 13M	○ ○	24回 24回	加圧器逃がし弁機能検査	
	加圧器逃がし弁	3-PCV-455A	1. 機能・性能試験 (駆動 部含む) 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	1F 1F 26M	○ ○ ○	24回 24回 24回	加圧器逃がし弁漏えい検査 加圧器逃がし弁分解検査	
	加圧器逃がし弁駆動部	3-PCV-455A	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特種試験)	高	13M 13M	○ ○	24回 24回	加圧器逃がし弁機能検査	
	加圧器逃がし弁	3-PCV-455B	1. 機能・性能試験 (駆動 部含む) 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	1F 1F 26M	○ ○ ○	24回 24回 24回	加圧器逃がし弁漏えい検査 加圧器逃がし弁分解検査	
	加圧器逃がし弁駆動部	3-PCV-455B	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特種試験)	高	13M 13M	○ ○	24回 24回	加圧器逃がし弁機能検査	
	加圧器逃がし弁元弁	3V-RC-054A	1. 機能・性能試験 (駆動 部含む) 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラインド ヘッド取替)	高	1F 130M 65M	○ — —	24回 21回 23回	加圧器逃がし弁元弁機能検査	
	加圧器逃がし弁元弁駆動部	3V-RC-054A	1. 分解点検	高	156M	—	21回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)	
原子炉冷却系統施設 【一次冷却材の循環設備】	加圧器速がし弁元弁	3V-RC-054B	高	IF	○	24回	加圧器速がし弁元弁機能検査		
		2. 分解点検			—	22回			
		3. 簡易点検 (クランプト パッキン取替)			—	22回			
	加圧器速がし弁元弁駆動部	3V-RC-054B	高	IF	○	21回	加圧器速がし弁元弁機能検査		
		3V-RC-054C			—	22回			
		2. 分解点検			—	22回			
	加圧器速がし弁元弁	3V-RC-054C	高	156M	—	21回	加圧器速がし弁元弁機能検査	一部定期事業者検査起動後	
					1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	—	24回		
					2. 分解点検 (ポンプ)	—	23回		
	A 1 次冷却材ポンプ・電動機		高	130M	—	24回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後	
					2. 分解点検 (電動機)	—	23回		
					2. 分解点検 (メカニカル シール)	○	24回		1 次冷却材ポンプメカニカルシール 分解検査
		高	104M	—	23回		一部先行実施		
				2. 分解点検 (フライホイ ール)	—	23回			
				3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	○	23回			
B 1 次冷却材ポンプ・電動機		高	IF	○	24回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後		
				2. 分解点検 (ポンプ)	—	24回			
				2. 分解点検 (電動機)	—	22回			
		高	13M	○	24回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール 分解検査	一部先行実施		
				2. 分解点検 (メカニカル シール)	—	24回			
				2. 分解点検 (フライホイ ール)	—	22回			
C 1 次冷却材ポンプ・電動機		高	26M	—	24回		一部定期事業者検査起動後		
				1. 機能・性能試験	○	24回		1 次冷却材ポンプ機能検査	
				2. 分解点検 (ポンプ)	—	21回			
		高	104M	○	20回		一部先行実施		
				2. 分解点検 (電動機)	—	20回			
				2. 分解点検 (メカニカル シール)	○	24回		1 次冷却材ポンプメカニカルシール 分解検査	
		高	104M	○	20回		一部先行実施		
				2. 分解点検 (フライホイ ール)	—	20回			
				3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	○	24回			
加圧器		高	39M	—	23回		一部定期事業者検査起動後		
				1. 開放点検	○	24回			
				2. 簡易点検 (ワンホール カスケット取替)	—	24回			
原子炉冷却系統施設【一次冷却材の循環 設備】その他の弁	1式	高	B	—	24回	1 次系弁検査	一部定期事業者検査起動後		
				1. 機能・性能試験	—	24回		1 次系弁検査	
				2. 分解点検	—	24回		1 次系逆止弁検査	
原子炉冷却系統施設【一次冷却材の循環 設備】その他の弁駆動部	1式	高	B	○	24回	1 次系弁検査	一部定期事業者検査起動後		
				2. 分解点検	○	24回		1 次系逆止弁検査	
				3. 簡易点検 (特種試験 他)	○	24回		1 次系弁検査	
原子炉冷却系統施設【一次冷却材の循環 設備】その他機器	1式	高	65M~260M	○	24回	1 次系弁検査	一部定期事業者検査起動後		
				1. 分解点検	○	24回		1 次系逆止弁検査	
				1. 分解点検	○	24回		1 次系弁検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	主蒸気安全弁	1. 機能・性能試験 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	IF B 26M	○ — —	24回 24回 24回	主蒸気安全弁機能検査 主蒸気安全弁漏えい検査		
		3V-MS-526A 3V-MS-527A 3V-MS-528A 3V-MS-529A 3V-MS-530A 3V-MS-531A 3V-MS-532A 3V-MS-526C 3V-MS-527C 3V-MS-528C 3V-MS-529C	1. 機能・性能試験 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	IF B 26M	○ ○ ○	24回 23回 23回	主蒸気安全弁機能検査 主蒸気安全弁漏えい検査	
		3V-MS-526B 3V-MS-527B 3V-MS-528B 3V-MS-529B 3V-MS-530B 3V-MS-531B 3V-MS-532B 3V-MS-530C 3V-MS-531C 3V-MS-532C	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	IF B 13M 13M 13M	○ ○ ○ ○ ○	24回 24回 24回 24回 24回	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートンク熱輸送設備作動検査 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		3-PCV-3610 3-PCV-3620 3-PCV-3630	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高	IF 39M 39M 39M	— ○ —	23回 22回 24回	2次系弁検査 2次系弁検査 2次系弁検査	
		3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラウンドバツキン取替)	高	B 52M~130M 65M	○ ○ ○	24回 24回 24回	2次系弁検査 2次系弁検査	
		3V-MS-533B 3V-MS-533C	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラウンドバツキン取替)	高	B 52M~156M 13M~52M	○ ○ ○	24回 24回 24回	2次系弁検査	
		原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高	13M~260M 13M~195M	○ ○	24回 24回	一部BMあり	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)																																																							
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	A 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※ 78M	-	22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ実施 保全の有効性評価結果No. 1の反映																																																							
		2. 分解点検 (ポンプ)																																																													
		3. 簡易点検 (電動機)																																																													
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	B 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※ 78M	○	22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ実施 保全の有効性評価結果No. 2の反映																																																							
		2. 分解点検 (ポンプ)																																																													
		3. 簡易点検 (電動機)																																																													
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	A 余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	-	18回	1次系熱交換器検査																																																								
		2. 非破壊試験																																																													
		1. 開放点検																																																													
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	B 余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	-	18回	1次系熱交換器検査																																																								
		2. 非破壊試験																																																													
		1. 開放点検																																																													
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	低圧注入系主要弁	1. 非破壊試験	高	130M	-	17回	1次系熱交換器検査																																																								
		1. 分解点検																																																													
		3V-RH-041A							1. 分解点検	高	130M	-	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査																																																	
		3V-RH-041B							1. 分解点検																																																						
		3-PCV-601							1. 分解点検							高	130M	-	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査																																											
		3-PCV-611							1. 分解点検																																																						
		3V-SI-193A							1. 分解点検													高	130M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査																																					
		3V-SI-193B							1. 分解点検																																																						
		3V-SI-202A							1. 分解点検																			高	130M	-	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査																															
		3V-SI-202B							1. 分解点検																																																						
		3V-SI-202C							1. 分解点検																									高	130M	-	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査																									
		3V-SI-203A							1. 分解点検																																																						
		3V-SI-203B							1. 分解点検																															高	130M	-	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査																			
		3V-SI-203C							1. 分解点検																																																						
		3V-SI-208A							1. 分解点検																																					高	130M	-	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査													
		3V-SI-208B							1. 分解点検																																																						
		3V-SI-209A							1. 分解点検																																											高	130M	○	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査							
		3V-SI-209B							1. 分解点検																																																						
		1式							1. 分解点検																																																	高	130M	-	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1式							1. 分解点検																																																						
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の弁	1. 機能・性能試験	高	B	○	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査																																																									
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の弁	2. 分解点検																																																														
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の弁	3. 簡易点検 (グラウンドバッキン取替)							高	52M~130M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査																																																			
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の弁	1. 機能・性能試験																																																														
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の弁	2. 分解点検													高	130M	-	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査																																													
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の弁	3. 簡易点検 (特性試験)																																																														
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	1. 分解点検																			高	130M	-	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査																																							
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	1. 分解点検																																																														
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	1. 分解点検																									高	156M	-	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査																																	
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	1. 分解点検																																																														
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	1. 機能・性能試験																															高	52M~130M	○	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査																											
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	2. 分解点検																																																														
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	3. 簡易点検 (特性試験)																																					高	130M~156M	○	24回	1次系弁検査 1次系弁検査																					
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	1. 機能・性能試験																																																														
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	2. 分解点検																																											高	52M~130M	○	24回	1次系弁検査 1次系弁検査															
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	3. 簡易点検 (特性試験)																																																														
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	1. 分解点検																																																	高	130M~260M	○	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査									
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	1. 分解点検																																																														
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	1. 分解点検																																																							高	130M~156M	-	21回	1次系弁検査			
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の機器	1. 分解点検																																																														

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧及び低圧注入系 [熱除去設備 (低圧注入機能) を含む]	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む) 1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	24回	非常用炉心冷却系機能検査	[対象設備] ・A高圧注入系 ・B高圧注入系 (自己冷却) ・C高圧注入系 (海水による電動機冷却) ・D低圧注入系 ・E低圧注入系 その他原子炉注入系(海水による電動機冷却) 施設定期検査は21回	
	その他原子炉注入系		高	1F	○	24回	その他原子炉注入系機能検査		
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧注入系主要弁	1. 分解点検	高	130M	○	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3-10V-121D	1. 分解点検	高	130M	—	23回	その他原子炉注入系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査
		3-10V-121E	1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-023A	1. 分解点検	高	130M	—	21回	その他原子炉注入系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査
		3V-SI-023B	1. 分解点検	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-042A	1. 分解点検	高	130M	—	21回	その他原子炉注入系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査
		3V-SI-042B	1. 分解点検	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-099A	1. 分解点検	高	260M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-099B	1. 分解点検	高	260M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-099C	1. 分解点検	高	260M	—	20回	その他原子炉注入系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査
		3V-SI-048A	1. 分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-048B	1. 分解点検	高	260M	—	20回	その他原子炉注入系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査
		3V-SI-048C	1. 分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-106A	1. 分解点検	高	260M	—	—	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	19回施設定期検査に設置
		3V-SI-106B	1. 分解点検	高	260M	—	—	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	19回施設定期検査に設置
		3V-SI-106C	1. 分解点検	高	260M	—	—	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	19回施設定期検査に設置
		3V-SI-087A	1. 分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-087B	1. 分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-087C	1. 分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-088	1. 分解点検	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
高圧注入系主要弁駆動部	1. 式	1. 分解点検	高	156M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	24回	非常用炉心冷却系機能検査	非常用炉心冷却系機能検査	
蓄圧注入系	蓄圧注入系主要弁	1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-SI-132A	1. 分解点検	高	130M	—	23回	その他原子炉注入系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査
		3V-SI-132B	1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-132C	1. 分解点検	高	130M	—	19回	その他原子炉注入系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査
		3V-SI-134A	1. 分解点検	高	130M	○	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-134B	1. 分解点検	高	130M	—	22回	その他原子炉注入系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査
		3V-SI-134C	1. 分解点検	高	130M	○	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-136A	1. 分解点検	高	130M	—	24回	その他原子炉注入系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査
		3V-SI-136B	1. 分解点検	高	130M	—	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査
		3V-SI-136C	1. 分解点検	高	130M	—	24回	その他原子炉注入系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査
		1. 式	1. 分解点検	高	156M	○	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	非常用炉心冷却系主要弁分解検査

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	A 蓄圧タンク	1. 開放点検	高	130M	—	21回		
	B 蓄圧タンク	1. 開放点検	高	130M	—	21回		
	C 蓄圧タンク	1. 開放点検	高	130M	—	21回		
	ほう酸注入タンク	1. 開放点検	高	130M	—	21回		
	燃料取替用水タンク	1. 開放点検	高	130M	—	17回		
	格納容器再循環サンク	1. 外観点検	高	1F	○	24回	原子炉格納容器再循環サンク	
	格納容器再循環サンク	1. 外観点検	高	10Y	—	23回	原子炉格納容器再循環サンク	
	燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ) 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	1F 130M 78M 26M	○ — — ○	24回 — — 24回	原子炉格納容器安全系機能検査 その他原子炉注水系統機能検査 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	21回施設点検時に設置 21回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No. 46の反映
	恒設代替低圧注水系統	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む) 2. 分解点検 (ポンプ)	高	1F	○	24回	原子炉格納容器安全系機能検査 その他原子炉注水系統機能検査	21回施設点検時に設置 その他原子炉注水系統機能検査は21回施設定期検査より追加
	恒設代替低圧注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	高	B 130M	— —	— —	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	21回施設点検時に設置 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査は21回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No. 47の反映
	代替注水系統 (薬品注水系統含む)	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む) 2. 分解点検 (ポンプ)	高	1F	○	—	原子炉格納容器安全系機能検査 その他原子炉注水系統機能検査	24回定期事業者検査時に設置 24回定期事業者検査より追加
	A 代替注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M 104M 13M~130M	— — ○	— — —	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	24回定期事業者検査時に設置 24回定期事業者検査より追加
B 代替注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M 104M 13M~130M	— — ○	— — —	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	24回定期事業者検査時に設置 24回定期事業者検査より追加	
A 代替ほう酸/薬品注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M 156M 13M~130M	— — ○	— — —	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	24回定期事業者検査時に設置 24回定期事業者検査より追加	
B 代替ほう酸/薬品注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M 156M 13M~130M	— — ○	— — —	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	24回定期事業者検査時に設置 24回定期事業者検査より追加	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B 52M~260M	○ ○	24回 24回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査		
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高	B 52M~156M 26M~208M	○ ○ ○	24回 24回 24回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査		
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他機器	1. 分解点検他	高 低	13M~260M 26M~208M	○ ○	24回 24回		一部BMあり 一部先行実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	化学体積制御系 A 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	○	24回	化学体積制御系機能検査	定期事業者検査起動後 (振動診断: 3M) その他原子炉注水系統ポンプ分解検査は21回 施設定期検査より追加	
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	20回	非常用中心冷却系ポンプ分解検査		
		2. 簡易点検 (電動機)		104M	—	21回	その他原子炉注水系統ポンプ分解検査		
	B 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検 (潤滑油入替他)	高	26M	—	24回		(振動診断: 3M)	
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	22回	非常用中心冷却系ポンプ分解検査		
		2. 簡易点検 (電動機)		104M	○	20回	その他原子炉注水系統ポンプ分解検査		
	C 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	26M	○	24回		(振動診断: 3M) その他原子炉注水系統ポンプ分解検査は21回 施設定期検査より追加	
		1. 分解点検 (電動機)		104M	—	23回			
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		26M	○	24回			
	原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービン附属設備〕	体積制御タンク	1. 開放点検	高	130M	—	20回		先行実施
			1. 開放点検	高	130M	—	21回		
			1. 開放点検	高	130M	—	20回		
冷却材フィルタ		1. 開放点検	高	130M	—	20回		先行実施	
		1. 開放点検	高	130M	—	19回			
		1. 開放点検 (管側)	高	130M	—	19回			
冷却材脱塩塔入口フィルタ		1. 開放点検	高	195M	—	19回		1次系熱交換器検査	
		1. 開放点検 (側側)	高	130M	—	19回			
		2. 非破壊試験	高	130M	—	19回			
非再生冷却器		1. 分解点検	高	130M	—	24回		その他原子炉注水系主要弁分解検査 21回施設定期検査より追加	
		1. 分解点検	高	130M	○	18回			
		1. 分解点検	高	130M	○	18回			
その他原子炉注水系主要弁	1. 分解点検	高	130M	—	21回		その他原子炉注水系主要弁分解検査 21回施設定期検査より追加		
	1. 分解点検	高	130M	○	18回				
	1. 分解点検	高	130M	○	18回				
原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	24回		1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 一部先行実施		
	2. 分解点検		13M~260M	○	24回				
	1. 機能・性能試験	高	B	○	24回				
原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕その他の弁駆動部	2. 分解点検	高	13M~156M	○	24回		1次系弁検査 一部先行実施 一部BMあり 一部先行実施		
	3. 簡易点検 (特性試験他)	高・低	13M~208M	○	24回				
	1. 分解点検他	高	13M~260M	○	24回				
原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕その他機器	1. 分解点検他	低	13M~260M	○	24回		補助給水系統機能検査		
	1. 分解点検	高	IF	○	24回				
	1. 機能・性能試験 (ポンプ・電動機、弁、弁駆動部等含む)	高							
原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕	補助給水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ・電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	IF	○	24回	補助給水系統機能検査	(振動診断: 1M)	
		1. 分解点検	高	130M	○	15回	補助給水系統ポンプ分解検査		
		2. 簡易点検 (電動機)		104M	—	21回			
	A 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	13M	○	24回		補助給水系統ポンプ分解検査 (振動診断: 1M)	
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	24回			
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	16回	補助給水系統ポンプ分解検査		
	B 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (電動機)	高	104M	—	22回		2次系ポンプ機能検査 補助給水系統ポンプ分解検査 駆動部のタービン含む	
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	24回			
		1. 分解点検	高	B	○	21回			
	タービン動補助給水ポンプ	2. 分解点検	高	52M	○	21回		2次系ポンプ機能検査 補助給水系統ポンプ分解検査 駆動部のタービン含む	
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	24回			
		1. 機能・性能試験	高	B	○	21回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	原子炉冷却系統施設[蒸気タービンの附属]1式 設備]その他の弁	1. 機能・性能試験	高	B 52M~130M 52M	○ ○ ○	24回 24回 23回	2次系弁検査 2次系弁検査	
		2. 分解点検						
		3. 簡易点検 (グラウンド入替)						
原子炉冷却系統施設[蒸気タービンの附属]1式 設備]その他の弁駆動部	原子炉冷却系統施設[蒸気タービンの附属]1式 設備]その他の機器	1. 機能・性能試験	高	B 52M~156M 13M~52M	○ ○ ○	23回 23回 24回	2次系弁検査	
		2. 分解点検						
		3. 簡易点検 (特牲試験)						
原子炉冷却系統施設[蒸気タービンの附属]1式 設備]その他の機器	原子炉冷却系統施設[蒸気タービンの附属]1式 設備]その他の機器	1. 分解点検他	高	26M~260M 65M~130M	○ ○	24回 21回	原子炉補機冷却系機能検査	
		1. 分解点検他						
		1. 分解点検他						
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	A 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (弁・弁駆動部を含む)	高	B※ 130M 104M 26M	○ ○ ○	24回 21回 24回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)						
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	B 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※ 130M 104M 26M	○ ○ ○	24回 21回 24回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)						
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	C 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※ 130M 104M 26M	○ ○ ○	22回 19回 24回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1.2M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)						
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	D 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※ 130M 104M 26M	○ ○ ○	21回 21回 24回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)						
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	E 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※ 130M 104M 26M	○ ○ ○	23回 21回 23回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)						
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	大容量ポンプ	1. 機能・性能試験	高	1Y X	○ ○	24回 -	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 21回施設設定検時に設置 保全の有効性評価結果No.45の反映
		2. 分解点検						
		2. 分解点検						
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	A 原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M 13M 13M	○ ○ ○	24回 24回 24回	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験						
		3. 漏えい試験						
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	B 原子炉補機冷却水冷却器	4. 機能・性能試験	高	X※ X※ 13M 13M 13M X※ X※	○ ○ ○ ○ ○	24回 24回 24回 24回 24回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修 上其機能・性能事業者検査 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修 工事構造・強度事業者検査	※: 1次系熱交換器検査結果にて有意な番号指示が認められた場合に実施
		5. 開放点検						
		1. 開放点検						
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	B 原子炉補機冷却水冷却器	2. 非破壊試験	高	13M 13M 13M X※ X※	○ ○ ○ ○	24回 24回 24回 24回	1次系熱交換器検査	※: 1次系熱交換器検査結果にて有意な番号指示が認められた場合に実施
		3. 漏えい試験						
		4. 機能・性能試験						
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	B 原子炉補機冷却水冷却器	5. 開放点検	高	X※ X※	○ ○	24回 24回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修 工事構造・強度事業者検査	※: 1次系熱交換器検査結果にて有意な番号指示が認められた場合に実施
		1. 開放点検						
		2. 非破壊試験						

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕	C 原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	24回	1 次系熱交換器検査	※：1 次系熱交換器検査結果にて有意な番号指示が認められた場合に実施
		2. 非破壊試験		13M	○	24回		
		3. 漏えい試験		13M	○	24回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修	
		4. 機能・性能試験		X※	○	24回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修 工事機能・性能事業者検査	
		5. 開放点検		X※	○	24回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修 工事機能・性能事業者検査	
原子炉補機冷却水冷却器	D 原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	24回	1 次系熱交換器検査	※：1 次系熱交換器検査結果にて有意な番号指示が認められた場合に実施
		2. 非破壊試験		13M	○	24回		
		3. 漏えい試験		13M	○	24回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修	
		4. 機能・性能試験		X※	○	24回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修 工事機能・性能事業者検査	
		5. 開放点検		X※	○	24回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修 工事機能・性能事業者検査	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水系 設備〕 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉補機冷却水サージタンク 原子炉補機冷却水サージタンクバキュームリリーフ弁 可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ 原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水設備〕 その他の弁 原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水設備〕 その他の機器 原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水設備〕 その他の機器 海水ポンプ・電動機	1. 開放点検	高・低	130M	—	21回	1 次系真空吸戻弁検査	21回施設定検時に設置
		2. 分解点検		130M	—	17回	1 次系真空吸戻弁検査	
		1. 機能・性能試験		1F	○	24回	可搬型重大事故等対応設備機能検査	
		2. 分解点検		10F	—	—		
		1. 機能・性能試験		B	○	24回	1 次系弁検査	
		2. 分解点検		130M	○	24回	1 次系安全弁検査	
		1. 機能・性能試験		B	—	22回	1 次系弁検査	
		2. 分解点検		13M～156M	○	24回	1 次系並止弁検査	
		3. 簡易点検 (特性試験他)		13M～65M	○	24回	1 次系弁検査	
		1. 分解点検他		13M～260M	○	24回	一部先行実施	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水系 設備〕 〔原子炉補機冷却海水設備〕	A 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動装置含む)	高	65M～208M	○	24回	原子炉補機冷却水設備機能検査	先行実施 (振動診断：3M (対象：電動機)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		B※	—	24回	2 次系ポンプ機能検査	
		1. 機能・性能試験		52M	—	24回	2 次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検 (電動機)		104M	—	24回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	24回		
		1. 機能・性能試験		D※	—	23回	2 次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	—	23回	2 次系ポンプ分解検査	
		1. 機能・性能試験		104M	—	23回		
		2. 分解点検 (電動機)		26M	○	23回		
		原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水系 設備〕 〔原子炉補機冷却海水設備〕		B 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	D※	
2. 分解点検 (ポンプ)	52M		—		23回		2 次系ポンプ分解検査	
1. 機能・性能試験	104M		—		23回			
2. 分解点検 (電動機)	26M		○		23回			
3. 簡易点検 (潤滑油入替)	26M		○		23回			
1. 機能・性能試験	D※		—		24回		2 次系ポンプ機能検査	
2. 分解点検 (ポンプ)	52M		—		24回		2 次系ポンプ分解検査	
1. 機能・性能試験	104M		—		22回			
2. 分解点検 (電動機)	26M		—		24回			
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水系 設備〕 〔原子炉補機冷却海水設備〕	C 海水ポンプ・電動機		1. 分解点検		高		117M	○
		1. 機能・性能試験	B	○		24回		
		2. 分解点検	117M	○		24回		
		1. 分解点検他	13M～195M	○		24回		
		1. 分解点検他	13M～195M	○		24回		
		1. 機能・性能試験	B	○		24回		
		2. 分解点検	117M	○		24回		
		1. 分解点検他	13M～195M	○		24回		
		1. 分解点検他	13M～195M	○		24回	一部BMあり	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)			
原子炉冷却系統施設 【原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置】	格納容器サンプ・格納容器内凝縮液量測定装置に係る設備	1.機能・性能試験	高	13M	○	24回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	() 内は適用する設備(診断技術)			
		2.特性試験		13M	○	24回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査				
	計測制御系統施設 【制御材】	照射済制御棒クラスタ	1.外観点検	高	1F	○	24回		制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による	
			1.外観点検	高	1F	○	24回		制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による	
			1.外観点検	高	1F	○	24回		制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による	
			1.外観点検	高	1F	○	24回		制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による	
	計測制御系統施設 【制御棒駆動装置】	制御棒クラスタ	1.機能・性能試験	高	1F	○	24回		制御棒駆動系機能検査	(振動診断：3M) ※発電機または電動機の分解点検に合わせ実施	
			1.機能・性能試験	高	1F	○	24回		制御棒クラスタ動作検査		
		A 制御棒駆動装置MGセット (発電機・電動機)	1.機能・性能試験	高	B※	○	24回				(振動診断：3M) ※発電機または電動機の分解点検に合わせ実施
			2.分解点検 (発電機)	高	78M	○	24回				
		B 制御棒駆動装置MGセット (発電機・電動機)	1.機能・性能試験	高	CBM	○	13回				(振動診断：3M) ※発電機または電動機の分解点検に合わせ実施
			2.分解点検 (電動機)	高	13M	○	24回				
計測制御系統施設 【工学的安全施設等の作動(信号)】	A TWS 緩和設備	1.機能・性能試験	高	13M	○	24回	重大事故時安全停止回路機能検査	(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ実施 保全の有効性評価結果No.3の反映			
		2.特性試験	高	13M	○	24回	重大事故時安全停止回路機能検査				
		1.機能・性能試験	高	B※	○	22回	ほう酸ポンプ機能検査				
		2.分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	22回	ほう酸ポンプ分解検査				
	B ほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	13M～39M	○	24回			(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ実施 保全の有効性評価結果No.4の反映		
		2.分解点検 (ポンプ)	高	B※	○	23回	ほう酸ポンプ機能検査				
		2.分解点検 (電動機)	高	78M	○	21回	ほう酸ポンプ分解検査				
		3.簡易点検 (潤滑油入替)	高	13M～39M	○	24回					
	C ほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	○	21回	ほう酸ポンプ機能検査		(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ実施 保全の有効性評価結果No.5の反映		
		2.分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	21回	ほう酸ポンプ分解検査				
		2.分解点検 (電動機)	高	78M	○	21回					
		3.簡易点検 (潤滑油入替)	高	13M～39M	○	24回					
A 1次系補給水ポンプ・電動機	1次系補給水ポンプ	1.機能・性能試験	低	B※	○	24回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：6M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ実施			
		2.分解点検 (ポンプ)	低	CBM	○	7回					
		2.分解点検 (電動機)	低	78M	○	24回					
		3.簡易点検 (潤滑油入替)	低	26M	○	24回					
	B 1次系補給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	○	23回	1次系ポンプ機能検査		(振動診断：6M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ実施		
		2.分解点検 (ポンプ)	低	CBM	○	8回					
		2.分解点検 (電動機)	低	78M	○	23回					
		3.簡易点検 (潤滑油入替)	低	26M	○	24回					

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)	
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	Aほう酸タンク	1. 開放点検	高	195M	—	23回			
	Bほう酸タンク	1. 開放点検	高	195M	—	21回			
	Aほう酸タンクアトモス弁	1. 分解点検	高	130M	—	21回	1次系真空破壊弁検査		
	Aほう酸タンクパキエムリーフ弁	1. 分解点検	高	130M	—	21回	1次系真空破壊弁検査		
	Bほう酸タンクアトモス弁	1. 分解点検	高	130M	—	19回	1次系真空破壊弁検査		
	Bほう酸タンクパキエムリーフ弁	1. 分解点検	高	130M	—	19回	1次系真空破壊弁検査		
	1次系純水タンク	1. 開放点検	低	195M	—	14回			
	1次系純水タンクアトモス弁	1. 分解点検	低	130M	—	21回	1次系真空破壊弁検査		
	1次系純水タンクパキエムリーフ弁	1. 分解点検	低	130M	—	21回	1次系真空破壊弁検査		
	ほう酸フィルタ	1. 開放点検	高	130M	—	20回			
	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B	—	23回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査		
	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B	—	19回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査		
	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の機器	1. 分解点検他	高	156M	—	19回	1次系弁検査		
	ほう酸熱再生抽出水冷却器	1. 分解点検他	低	91M~221M 104M~234M	○	24回	○	一部BMあり 一部先行実施 先行実施	
計測制御系統施設 [ほう酸再生設備]	ほう酸熱再生再熟器	1. 開放点検(管側) 1. 開放点検(胴側) 2. 非破壊試験	高	130M 195M 130M	—	18回 22回 18回	—	先行実施	
	ほう酸熱再生前置熱交換器	1. 開放点検(管側) 2. 非破壊試験	高	130M 195M	—	18回 22回	—	先行実施	
	計測制御系統施設 [ほう酸再生設備] その他の弁	1. 開放点検(管側) 2. 非破壊試験	高	130M 195M	—	18回 22回	—	先行実施	
	計測制御系統施設 [ほう酸再生設備] その他の機器	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B	—	21回 24回	—	一部先行実施 1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
	格納容器外制御用空気圧縮機	1. 機能・性能試験(圧縮機、電動機含む)	高	104M~130M 156M	○	24回	○	一部先行実施 一部BMあり 一部先行実施	
	A格納容器外制御用空気圧縮機・電動機	1. 機能・性能試験(圧縮機、電動機含む) 1. 分解点検(圧縮機) 1. 分解点検(電動機)	高	1F	○	24回	○	制御用空気圧縮機能検査	
	計測制御系統施設 [制御用空気設備]	格納容器外制御用空気圧縮機	2. 簡易点検(Vベル調整) 2. 簡易点検(潤滑油入替)	高	26M CBM 26M 26M	—	13回 24回 24回	—	(振動診断: 3M (対象: 電動機)) 保全の有効性評価結果No.6の反映
		B格納容器外制御用空気圧縮機・電動機	1. 機能・性能試験(圧縮機) 1. 分解点検(電動機) 2. 簡易点検(Vベル調整)	高	26M CBM 26M	○	24回 14回 24回	○	(振動診断: 3M (対象: 電動機)) 保全の有効性評価結果No.7の反映
		格納容器内制御用空気圧縮機	2. 簡易点検(潤滑油入替)	高	26M	—	24回	—	
		格納容器内制御用空気圧縮機	1. 機能・性能試験(圧縮機、電動機含む)	高	1F	○	24回	○	制御用空気圧縮機能検査

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)	
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	A 格納容器内制御用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検 (圧縮機) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (Vベルト調整他) 4. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	26M 78M 26M	○ — —	23回 24回 24回		(振動診断: 3M (対象: 電動機)) 保全の有効性評価結果No. 8の反映	
	B 格納容器内制御用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検 (潤滑油入替他) 2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	13M~26M	○	24回		(振動診断: 3M (対象: 電動機)) 保全の有効性評価結果No. 9の反映	
計測制御系統施設 [その他設備]	計測制御系統施設 [制御用空気設備] の他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B 130M~195M	— ○	23回 23回	1 次系安全弁検査 1 次系逆止弁検査		
	計測制御系統施設 [制御用空気設備] の他の弁駆動部の他機器	1. 分解点検 1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 高 低	156M 13M~260M 13M~260M	— ○ ○	24回 24回 24回		保全の有効性評価結果No. 10の反映 一部BMあり 保全の有効性評価結果No. 11の反映	
	1. 原子炉保護系ロジック回路 2. 安全防護系ロジック回路	1. 機能・性能試験 1. 特性試験	高 高・低	1F 13M	○ ○	24回 24回	安全保護系機能検査 安全保護系設定値確認検査		
	事故時監視計器 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器 水素濃度監視計器	11個 29個 14個 13個 2個	1. 特性試験	高	13M	○	24回	プラント状態監視設備機能検査	一部24回定期事業者検査時に設置
	事故時材料採取設備 格納容器ガス試料採取系統設備	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	24回	プラント状態監視設備機能検査	
	計測制御系統施設 破砕板	7台	1. 分解点検 1. 特性試験	高	130M 13M	— ○	21回 24回	1 次系破砕板検査	
	1. 制御棒制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系	1式	2. 機能・性能試験	高	1F	○	24回	計測制御系統機能検査	一部定期事業者検査起動後
	1 次系及び 2 次系計測制御装置	1式	1. 特性試験	高・低	13M	○	24回	計測制御系統監視機能検査	一部定期事業者検査起動後
	炉外核計測装置 中性子源領域計測装置 中間領域計測装置 出力領域計測装置	2台 2台 8台	1. 特性試験	高	13M	○	24回	核計測装置機能検査	一部定期事業者検査起動後

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)
計測制御系統施設 〔その他設備〕	炉内核計装装置	1式	高・低	1F 13M 13M	○ ○ ○	24回 24回 24回	核計装設備検査	
	炉内計装用シンプルチェューブ	30本	高	52M	—	24回	炉内計装用シンプルチェューブ体積検査	
	制御棒位置指示装置	1式	高	13M	○	24回	制御棒位置指示装置設定値検査	
	原子炉保護系	5回路	高	1F	○	24回	安全保護系機能検査	
	2. パーミッシンプロロジック回路 安全防護系	3回路						
	総合インテグレーション	1式	高	1F	○	24回	総合インテグレーション検査	
	1. タービントリップによる原子炉、発電機トリップ回路							
	2. 発電機トリップによる原子炉、タービントリップ回路							
	3. 原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ回路							
	原子炉の停止制御回路	1式	高	1F	○	24回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置	2台	高・低	1F	○	24回	可搬型重大事故等対応設備機能検査	
	計測制御系統施設〔その他設備〕 その他	1式	高・低	B 78M~260M	— ○	24回 24回	1. 次系弁検査 1. 次系安全弁検査 1. 次系弁検査 1. 次系安全弁検査	
	計測制御系統施設〔その他設備〕 弁駆動部	1式	高・低	B 65M~156M	○ ○	24回 24回	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	
	計測制御系統施設〔その他設備〕 その他機器	1式	高	65M~208M 13M~208M	○ ○	24回 24回	1. 機能・性能試験 (特性試験) 1. 分解点検他	
	ガス圧縮機	2台	低	12M~260M	○	24回	1. 分解点検他	保全の有効性評価結果No.12, 13, 14, 15の反映
	A. ガス圧縮機・電動機							
	B. ガス圧縮機・電動機							
	水素再結合装置	2台	低	52M 52M	— ○	24回 21回	1. 機能・性能試験 (圧縮機・電動機含む)	(振動診断: 4M) (振動診断: 4M)
	A. 水素再結合装置							
	B. 水素再結合装置							
1. 次系破膜板	12台	高	130M	○	24回	1. 分解点検	気体廃棄物処理系機能検査	
ほう酸回収装置 (弁、機器)	1式	低	130M 130M	○ —	24回 24回	1. 機能・性能試験 2. 簡易点検 (ガスケットハッキン取付)	1. 次系破膜板検査 液体廃棄物処理系機能検査	
廃液蒸発装置	3基	低	1F	○	24回	1. 機能・性能試験	液体廃棄物処理系機能検査	
廃液蒸発装置 (弁、機器)	1式	低	65M~156M 130M	○ ○	24回 24回	1. 分解点検他 2. 簡易点検 (ガスケットハッキン取付)	液体廃棄物処理系機能検査 液体廃棄物処理系機能検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射形廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	A 補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	7回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		91M 39M	21回 24回			
	B 補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	○	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	8回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		78M 39M	21回 23回			
	A ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	6回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		78M 39M	21回 23回			
	B ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	7回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		78M 39M	23回 24回			
A 補助建屋サンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		260M	23回				
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		169M	16回				
B 補助建屋サンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		260M	21回				
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		169M	24回				
A 補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		260M	21回				
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		143M	17回				
B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		260M	21回				
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		156M	24回				
A 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		26M	24回				
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		78M 13M	21回 24回				
B 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	○	24回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		26M	24回				
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		78M 13M	21回 24回				
A 格納容器サンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	○	22回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		52M	22回				
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		52M	22回				
B 格納容器サンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		52M	23回				
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		52M	23回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
放射線/廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	A 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	○	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	8回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		78M	○	21回		
	B 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	5回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		78M	—	23回		
	C 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	6回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		78M	—	24回		
	34 A 洗浄排水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	○	16回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	6回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		156M	○	16回		
34 B 洗浄排水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	7回			
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		156M	—	23回			
34 A 洗浄排水モニタポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	23回			
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		156M	—	23回			
34 B 洗浄排水モニタポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	4回			
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		182M	—	15回			
34 A 廃液蒸留水モニタポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	7回			
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		208M	—	15回			
34 B 廃液蒸留水モニタポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	○	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	16回			
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		182M	—	16回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
放射線廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	34A 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	18回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	7回			
		3. 簡易点検 (電動機)		182M	—	18回			
	34B 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (潤滑油入替)	低	39M	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	3回			
		3. 簡易点検 (電動機)		208M	—	14回			
	34 廃液貯蔵タンク循環ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		260M	—	24回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		91M	—	21回			
	放射線廃棄物の廃棄施設 〔原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射線廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置〕	液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の漏えい防止に係る警報機能	1. 特性試験	低	13M	○	24回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	
			2. 機能・性能試験		1F	○	24回		
			1. 特性検査		13M	○	24回		
流体状の放射線廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置 (34 廃液ドレンタンク水伝送器)		1. 機能・性能試験	低	1F	○	24回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査		
		2. 機能・性能試験		1F	○	24回			
		1. 特性検査		13M	○	24回			
アスファルト固化設備		1. 機能・性能試験	低	1F	○	24回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	
		2. 機能・性能試験		1F	○	24回			
		1. 特性検査		13M	○	24回			
アスファルト固化設備 (弁、機器)		1. 機能・性能試験	低	B	—	27回※	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	
		2. 分解点検		195M~260M	○	27回※			
		3. 簡易点検 (グラランドパツキン取替)		13M~260M	○	27回※			
使用済樹脂スループポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	24回	固体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：6M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ て実施		
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	7回				
	3. 簡易点検 (電動機)		78M	—	24回				
放射線廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	24回	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系真空破断弁検査	一部先行実施		
	2. 分解点検		13M~260M	○	24回				
	1. 分解点検他		13M~130M	○	24回				
放射線廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕その他機器	1. 機能・性能試験	低	12M~260M	○	24回	流体状の放射線廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置 (最終の流入サンプリング)	一部先行実施 一部BIMあり 一部先行実施 保全の有効性評価結果No.23の反映		
	2. 分解点検		13M~260M	○	24回				
	1. 機能・性能試験		1F	○	24回				
放射線廃棄物の廃棄施設 〔原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射線廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置〕	格納容器内高レンジエアロモニタ	1. 特性試験	高	13M	○	24回	エアロモニタ機能検査	24回定期事業者検査時に設置	
		2. 分解点検		13M	○	—			
		3. 簡易点検		13M	○	—			
	緊急時閉鎖室エアロモニタ	1. 特性試験	高	13M	○	—	エアロモニタ機能検査	24回定期事業者検査時に設置	
		2. 分解点検		13M	○	—			
		3. 簡易点検		13M	○	—			
	格納容器内エアロモニタ (3R-10870)	1. 特性試験	高	13M	○	—	エアロモニタ機能検査	24回定期事業者検査時に設置	
		2. 分解点検		13M	○	—			
		3. 簡易点検		13M	○	—			
	格納容器内エアロモニタ (3R-10871)	1. 特性試験	高	13M	○	—	エアロモニタ機能検査	24回定期事業者検査時に設置	
		2. 分解点検		13M	○	—			
		3. 簡易点検		13M	○	—			
F V T 流モニタ (3R-10800)	1. 特性試験	高	13M	○	—	プロセスモニタ機能検査	24回定期事業者検査時に設置		
	2. 分解点検		13M	○	—				
	3. 簡易点検		13M	○	—				
格納容器昇気筒ガスモニタ (3R-21)	1. 機能・性能試験	高	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査			
	2. 特性試験		13M	○	24回				
	3. 簡易点検		13M	○	24回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	補助建屋排気筒ガスモニタ (3R-26)	1.機能・性能試験 2.特性試験	高	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査	
	廃棄物処理設備排水モニタ (34R-35)	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査	
		2.特性試験						
	格納容器じんあいモニタ (3R-40)	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査	
		2.特性試験						
	格納容器ガスモニタ (3R-41)	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査	
		2.特性試験						
	復水器空気抽出器ガスモニタ (3R-43)	1.機能・性能試験	高	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査	
		2.特性試験						
	安全補機室排気ガスモニタ (3R-46)	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
2.特性試験								
一般補機室排気ガスモニタ (3R-48A)	1.機能・性能試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
一般補機室排気ガスモニタ (3R-48B)	1.機能・性能試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
使用済燃料ピット排気ガスモニタ (3R-49)	1.機能・性能試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
建屋内漏洩検知ガスモニタB (3R-50A)	1.機能・性能試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
蒸気発生器プロウウン水モニタ (3R-55)	1.機能・性能試験	高	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験						一部定期事業者検査起動後	
原子炉補機冷却水モニタ (3R-56)	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
補助蒸気復水モニタ (3R-57)	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
タービンナンプ水モニタ (3R-58)	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
1次系建屋基礎湧水モニタ (3R-59)	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
A高感度型主蒸気管モニタ (3R-65)	1.機能・性能試験	高	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	2.特性試験							
B高感度型主蒸気管モニタ (3R-66)	1.機能・性能試験	高	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	2.特性試験							
C高感度型主蒸気管モニタ (3R-67)	1.機能・性能試験	高	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	2.特性試験							
1次冷却材連続モニタ (3R-70)	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
ほう酸蒸留水モニタ (3R-71)	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
格納容器排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ) (3R-80A)	1.機能・性能試験	高	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
格納容器排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ) (3R-80B)	1.機能・性能試験	高	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
補助建屋排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ) (3R-81A)	1.機能・性能試験	高	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
補助建屋排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ) (3R-81B)	1.機能・性能試験	高	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
A主蒸気管モニタ (3R-87)	1.機能・性能試験	高	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
B主蒸気管モニタ (3R-88)	1.機能・性能試験	高	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
C主蒸気管モニタ (3R-89)	1.機能・性能試験	高	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
放水口水モニタ (34R-99)	1.機能・性能試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
中央制御室エリアモニタ (34R-1)	1.機能・性能試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
格納容器内エアロックエリアモニタ (3R-2)	1.機能・性能試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
放射化学室エリアモニタ (34R-3)	1.機能・性能試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
A充てんポンプ室エリアモニタ (3R-4A)	1.機能・性能試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
B充てんポンプ室エリアモニタ (3R-4B)	1.機能・性能試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
C充てんポンプ室エリアモニタ (3R-4C)	1.機能・性能試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
使用済燃料ピットエリアモニタ (3R-5)	1.機能・性能試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							
ナンプリノング室エリアモニタ (34R-6)	1.機能・性能試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査		
	2.特性試験							

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	室内計表区域エリアモニタ (3R-7) アスファルト固化装置ドラム充てん監視区域エリアモニタ (34R-9A) 充てんドラム貯蔵室クレール操作区域エリアモニタ (34R-9B) 格納容器内オペレーティングフロアエリアモニタ (3R-10) 1 次系補機操作室エリアモニタ (34R-11) 可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ 放射線管理施設【放射線管理用計測装置】その他の装置 放射線管理施設【放射線管理用計測装置】その他機器	1. 特性試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査	
		1. 特性試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査	
		1. 特性試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査	
		1. 特性試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査	
		1. 特性試験	低	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査	
		1. 特性試験	高	13M	○	24回	放射線監視装置機能検査	フロント運転中又は定期事業者検査停止中
		1. 分解点検	高	130M	—	24回	1 次系弁検査	
		1. 分解点検他	高	13M	○	24回		一部BMあり
		1. 分解点検他	低	1Y~2Y	○	24回		フロント運転中又は定期事業者検査停止中 保全の有効性評価結果No.24の反映 21回施設定期検査より追加
		1. 漏えい試験	高	6Y	○	24回	24回	中央制御室の居住性確認検査
放射線管理施設 【生体遮蔽装置】	中央制御室遮蔽 緊急時対策所遮蔽 緊急時制御室遮蔽 放射線管理施設【生体遮蔽装置】その他機器	1. 漏えい試験	高	6Y	○	24回	緊急時対策所の居住性確認検査	
		1. 漏えい試験	高	6Y	—	—	緊急時制御室の居住性確認検査	
		1. 外観点検	高	3M~1F	○	24回		25回定期事業者検査時に設置 25回定期事業者検査より追加
		1. 機能・性能試験	低	1F	○	24回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検	低	4F	—	24回		
		1. 機能・性能試験	低	1F	○	24回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検	低	4F	—	24回		
		1. 機能・性能試験	低	1F	○	24回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検	低	4F	—	24回		
		2. 開放点検	高	1F	○	24回	中央制御室非常用循環系機能検査	
放射線管理施設 【換気設備】	A 格納容器排気フィルタユニット B 格納容器排気フィルタユニット A 格納容器空気浄化フィルタユニット B 格納容器空気浄化フィルタユニット 中央制御室非常用循環系 (A 系列) 中央制御室非常用循環系 (B 系列) 緊急時制御室非常用循環系 中央制御室非常用循環フィルタユニット (A 系列) 中央制御室非常用循環フィルタユニット (B 系列)	1. 機能・性能試験	低	1F	○	24回	中央制御室非常用循環系機能検査	
		2. 開放点検	低	4F	—	24回		
		1. 機能・性能試験	低	1F	○	24回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検	低	4F	—	24回		
		1. 機能・性能試験	低	1F	○	24回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検	低	4F	—	24回		
		2. 開放点検	高	1F	○	24回	中央制御室非常用循環系機能検査	
		1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	—	23回※	中央制御室非常用循環系機能検査	4号設備 ※4号での実績
		1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	—	緊急時制御室非常用循環系機能検査	24回定期事業者検査より追加
		1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	24回	中央制御室非常用循環系フィルタター性能検査	
放射線管理施設 【フィルタ取替】	1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査) 2. 機能・性能試験 3. 開放点検 (フィルタ取替) 1. 開放点検 1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査) 2. 機能・性能試験 3. 開放点検 (フィルタ取替)	1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査)	高	1F	○	24回	中央制御室非常用循環系フィルタター性能検査	
		2. 機能・性能試験	高	1F	○	24回	中央制御室非常用循環系フィルタター性能検査	
		3. 開放点検 (フィルタ取替)	高	1F	○	24回	中央制御室非常用循環系フィルタター性能検査	
		1. 開放点検	高	4F	—	24回	1 次系換気空調設備検査	※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施
		1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査)	高	1F	—	22回		4号設備 ※1: よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施 ※2: 4号での実績
		2. 機能・性能試験	高	1F	—	23回※2	中央制御室非常用循環系フィルタター性能検査	
		3. 開放点検 (フィルタ取替)	高	1F	—	23回※2	中央制御室非常用循環系フィルタター性能検査	
		1. 開放点検	高	1F	—	23回※2	中央制御室非常用循環系フィルタター性能検査	
		2. 機能・性能試験	高	1F	—	23回※2	中央制御室非常用循環系フィルタター性能検査	
		3. 開放点検 (フィルタ取替)	高	1F	—	22回※2	中央制御室非常用循環系フィルタター性能検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 〔換気設備〕	緊急時制御室給気フィルタユニット (A系列)	1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査)	高	1F	○	—	緊急時制御室非常用循環系フィルタ性能検査	25回定期事業者検査時に設置 25回定期事業者検査より追加 ※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施	
		1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査)	高	1F	○	—	緊急時制御室非常用循環系フィルタ性能検査		
		2. 機能・性能試験 3. 開放点検 (フィルタ取り替)	高	X※	—	—	—		
緊急時制御室給気フィルタユニット (B系列)	緊急時制御室給気フィルタユニット	1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査)	高	4F	—	—	緊急時制御室非常用循環系フィルタ性能検査	4号設備 23回定期事業者検査時に設置 24回定期事業者検査より追加 ※1: よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施 ※2: 4号での実績	
		2. 機能・性能試験 3. 開放点検 (フィルタ取り替)	高	X※1	—	—	—		
		3. 開放点検	高	4F	—	—	—		
34A放射線管理室排気フィルタユニット	34A放射線管理室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2. 開放点検	低	4F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	緊急時対策所可搬型空気浄化フィルタユニット (3号機 一部使用承認設備を対象)	1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ性能検査)	高	1Y	○	24回	可搬型換気空調設備検査	先行実施	
		2. 開放点検	高	1Y	○	24回	可搬型換気空調設備検査	先行実施	
	A補助建屋排気フィルタユニット	A補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施
			2. 開放点検	低	4F	—	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		B補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	4F	—	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
			2. 開放点検	低	4F	—	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	34ベイヤ排気フィルタユニット	34ベイヤ排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施
			2. 開放点検	低	4F	—	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
34ホット工作室排気フィルタユニット		1. 機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2. 開放点検	低	4F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
34A中央制御室空調ユニット	34A中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	○	22回			
		1. 開放点検	高	52M	○	22回			
34B中央制御室空調ユニット	34B中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	○	21回※			
		1. 開放点検	高	52M	—			4号設備 ※4号での実績	
34D中央制御室空調ユニット	34D中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	21回※			
		1. 開放点検	高	52M	○	21回			
A格納容器給気ユニット	A格納容器給気ユニット	1. 開放点検	低	52M	○	21回			
		1. 開放点検	低	52M	○	21回			
	A補助建屋給気ユニット	1. 開放点検	低	52M	○	22回			
		1. 開放点検	低	52M	○	21回			
3・4放射線管理室給気ユニット	3・4放射線管理室給気ユニット	1. 機能・性能試験	低	52M	○	24回			
		2. 分解点検 (ファン)	低	260M	—	21回			
B格納容器給気ファン・電動機	B格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 (電動機)	低	CBM	—	8回			
		2. 分解点検 (ファン)	低	260M	○	24回			
	A格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 (電動機)	低	CBM	—	8回			
		2. 分解点検 (ファン)	低	260M	○	21回			
B格納容器給気ファン・電動機	B格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 (電動機)	低	CBM	—	3回			
		2. 分解点検 (電動機)	低	260M	○	21回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F 260M	○	24回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2.0)
		2. 分解点検 (ファン)						
		2. 分解点検 (電動機)						
	B 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F 260M	○	24回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2.0)
		2. 分解点検 (ファン)						
		2. 分解点検 (電動機)						
	A 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F 260M	○	24回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)						
		2. 分解点検 (電動機)						
	D 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F 260M	○	24回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)						
		2. 分解点検 (電動機)						
C 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F 260M	○	24回	1 次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)							
	2. 分解点検 (電動機)							
D 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F 260M	○	24回	1 次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)							
	2. 分解点検 (電動機)							
A 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F 260M	○	24回	1 次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)							
	2. 分解点検 (電動機)							
B 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F 260M	○	24回	1 次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)							
	2. 分解点検 (電動機)							
34A 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F 260M	○	24回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：4.0)	
	2. 分解点検 (ファン)							
	2. 分解点検 (電動機)							
34B 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F 260M	○	24回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：4.0)	
	2. 分解点検 (ファン)							
	2. 分解点検 (電動機)							
34C 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F 260M	○	23回※	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：4.0) 4号設備 ※4号での実績	
	2. 分解点検 (ファン)							
	2. 分解点検 (電動機)							
34D 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F 260M	○	23回※	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：4.0) 4号設備 ※4号での実績	
	2. 分解点検 (ファン)							
	2. 分解点検 (電動機)							

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
放射線管理施設 [換気設備]	34A 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	24回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機))
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	19回		
	34B 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	78M	—	22回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機))
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	15回		
	34C 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	78M	—	24回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機))
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回※		
	34D 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	260M	—	23回※	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機))
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	20回※		
	34A 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	78M	—	16回※	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機))
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回※		
	34B 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	78M	—	24回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	16回		
	34C 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	117M	—	21回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	17回		
	34D 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	117M	—	24回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	23回※		
	緊急時対策所可搬型空気浄化ファン 4台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	24回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (電動機)		260M	—	16回※		
	34A 緊急時制御室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	20F	○	—	1 次系換気空調設備検査	25回定期事業者検査時に設置
		2. 分解点検 (ファン)		12F	—	—		
34B 緊急時制御室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	—	—※	1 次系換気空調設備検査	4号設備	
	2. 分解点検 (ファン)		20F	—	—※			
34A 放射線管理室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	12F	—	—※	1 次系換気空調設備検査	4号設備	
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	24回			
34B 放射線管理室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	10M	—	7回	1 次系換気空調設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	21回			
34A 放射線管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	24回	1 次系換気空調設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	16回			
34B 放射線管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	10M	—	21回	1 次系換気空調設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回			
34A 放射線管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	78M	○	21回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: ファン))	
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	17回			
34B 放射線管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	260M	○	24回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: ファン))	
	2. 分解点検 (ファン)		78M	—	23回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全の方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	A補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：電動機))
		2.分解点検 (ファン)		260M	—	21回		
		3.簡易点検 (モータ内部清掃)		CBM	—	14回		
	B補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：電動機))
		2.分解点検 (ファン)		260M	—	21回		
		3.簡易点検 (モータ内部清掃)		CBM	—	7回		
	A補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M)
		2.分解点検 (ファン)		260M	—	15回		
		2.分解点検 (電動機)		104M	—	21回		
	B補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M)
		2.分解点検 (ファン)		260M	—	16回		
		2.分解点検 (電動機)		104M	—	21回		
C補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M)	
	2.分解点検 (ファン)		260M	—	17回			
	2.分解点検 (電動機)		104M	—	24回			
A燃料取扱室給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：電動機))	
	2.分解点検 (ファン)		260M	—	21回			
	2.分解点検 (電動機)		CBM	—	7回			
B燃料取扱室給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：電動機))	
	2.分解点検 (ファン)		260M	—	21回			
	2.分解点検 (電動機)		CBM	—	8回			
A燃料取扱室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M)	
	2.分解点検 (ファン)		260M	—	20回			
	2.分解点検 (電動機)		CBM	—	21回			
B燃料取扱室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M)	
	2.分解点検 (ファン)		260M	—	21回			
	2.分解点検 (電動機)		CBM	—	21回			
34ベイヤ排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2.分解点検 (ファン)		260M	—	20回			
	2.分解点検 (電動機)		156M	—	18回			
34ボット工作室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2.分解点検 (ファン)		260M	—	16回			
	2.分解点検 (電動機)		156M	○	16回			
34廃棄物処理建屋送気ブラスターファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2.分解点検 (ファン)		260M	—	21回			
	2.分解点検 (電動機)		78M	—	21回			
34廃棄物処理建屋排気ブラスターファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2.分解点検 (ファン)		260M	—	21回			
	2.分解点検 (電動機)		78M	—	21回			
自動ダンプ	1.機能・性能試験	高・低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	一部先行実施	
	2.分解点検 (電動機)		65M~130M	○	24回			
	2.分解点検 (他)		B	—	20回			
放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	1.機能・性能試験	高	130M	—	20回	1次系安全弁検査	一部先行実施	
	2.分解点検		130M	—	20回	1次系弁検査		
	2.分解点検		130M	—	20回	1次系弁検査		
放射線管理施設 [換気設備] その他の機器	1.機能・性能試験	高	13M~260M	○	24回	1次系安全弁検査	一部先行実施	
	2.分解点検		13M~260M	○	24回	1次系弁検査		
	2.分解点検		13M~260M	○	24回	1次系弁検査		
可搬型気象観測装置	1式	1.特性試験	高	1Y	○	24回		一部BMあり

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術)
原子炉格納容器 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器	1. 漏えい率試験	高	3F	—	24回	原子炉格納容器全体漏えい率検査 (第27回定検において設計圧力にて実施予定)	
	エアロック	1. 漏えい率試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (バックキョウ替他)	高	2回/3F 52M 13M	○ — ○	23回 24回 24回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
機器搬入口	非常用1個	1. 漏えい率試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (バックキョウ替他)	高	2回/3F 52M 13M	○ — ○	23回 23回 24回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	1個	1. 漏えい率試験 2. 非破壊試験	高	2回/3F 25%/10V	○ —	23回 22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査 原子炉格納容器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別表-6]
配管貫通部	1式	1. 漏えい率試験 2. 開放点検	高	2回/3F 開放時※	○ —	23回 21回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	※拒し、最長1回/10定検
	1式	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
電源直通部	1式	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	70個	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	2回/3F	○	23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
格納容器隔離信号 (T・V信号) により隔離される弁	20個	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	24回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	3V-CS-004A	1. 分解点検	高	52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁	3V-CS-004B	1. 分解点検	高	52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-CS-004C	1. 分解点検	高	52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
格納容器スプレイ・隔離信号 (P・V信号) により隔離される弁	3V-DP-001A	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-DP-001B	1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁	3V-DP-003A	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-DP-003B	1. 分解点検	高	130M	—	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁	3V-WL-355	1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-CS-007	1. 分解点検	高	52M	○	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁	3V-WL-354	1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-WL-018	1. 分解点検	高	130M	○	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁	3V-VR-001A	1. 分解点検	高	130M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-VR-001B	1. 分解点検	高	130M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁	3V-VR-002A	1. 分解点検	高	130M	—	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-VR-002B	1. 分解点検	高	130M	○	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁	3V-IA-508A	1. 分解点検	高	130M	—	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-CS-308	1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁	3V-CC-310	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-CC-489	1. 分解点検	高	130M	○	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁	3V-CC-482	1. 分解点検	高	130M	○	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-CC-523	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁	3V-CC-521	1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-CC-546	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁	3V-CC-544	1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-IA-508B	1. 分解点検	高	130M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁駆動部	1式	2. 簡易点検 (グラランドバックキョウ取替他)	高	65M	○	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	1式	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性試験他)	高	52M~156M 13M~130M	○ ○	24回 24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術)
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器真空速がし弁	4個	高	IF	○	24回	原子炉格納容器真空速がし弁機能検査	
	原子炉格納施設[原子炉格納容器] 其他の弁	1式	高	IF	○	24回	1次系弁検査	
	原子炉格納施設[原子炉格納容器] 其他の弁	1式	高	52M~130M	○	24回	1次系弁検査 2次系弁検査	
	原子炉格納施設[原子炉格納容器] 其他の弁	1式	高	52M~130M	○	24回	1次系弁検査	
	原子炉格納施設[原子炉格納容器] 其他の弁	1式	高	52M~65M	○	24回	1次系弁検査	
	原子炉格納施設[原子炉格納容器] 其他の弁	1式	高	13M~130M	○	24回	1次系弁検査	
	原子炉格納施設[原子炉格納容器] 其他の弁	1式	低	130M	○	24回	1次系弁検査	一部BMあり
	原子炉格納施設[圧力低減設備] 其他の安全設備	原子炉格納容器スプレイス	1.機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む) 2.機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	IF	○	原子炉格納容器安全系機能検査	
		圧力速がし系	1.機能・性能試験(弁、弁駆動部等含む)	高	IF	○	圧力速がし系作動検査	
		A.原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ)	高	130M	—	19回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 其他原子炉注水系ポンプ分解検査
原子炉格納施設 [圧力低減設備] 其他の安全設備	B.原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ)	高	130M	—	23回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断:1M)
		1.分解点検(電動機)		130M	—	19回		
		2.簡易点検(潤滑油入替他)		26M	○	24回		
	A.格納容器スプレイ冷却器	1.開放点検(管側)	高	130M	—	19回		
		2.非破壊試験		195M	—	19回		
		1.開放点検(管側)	高	130M	—	19回	1次系熱交換器検査	
	B.格納容器スプレイ冷却器	1.開放点検(管側)	高	130M	—	20回		
		2.非破壊試験		195M	—	20回		
		1.分解点検	高	130M	—	20回	1次系熱交換器検査	
		2.非破壊試験		130M	—	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
原子炉格納施設 [圧力低減設備] 其他の安全設備	原子炉格納容器スプレイス主要弁	3V-CP-024A	高	130M	—	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3V-CP-024B	高	130M	—	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3V-CP-054A	高	130M	—	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3V-CP-054B	高	130M	—	23回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3V-CP-001A	高	130M	—	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3V-CP-001B	高	130M	—	23回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3V-CP-003A	高	130M	—	21回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3V-CP-003B	高	130M	—	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1式	高	156M	○	20回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1.分解点検						

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	可燃性ガス濃度制御系主要弁	3V-VS-101A	高	65M	○	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加	
		3V-VS-101B	高	65M	—	22回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
		3V-VS-102A	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加	
		3V-VS-102B	高	65M	—	22回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
		3V-VS-103A	高	65M	○	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加	
		3V-VS-103B	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加	
		3-PCV-2465	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加	
		3-PCV-2485	高	65M	—	23回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
		よう薬除去薬品タンク	1. 開放点検	高	130M	—	20回		
			1. 分解点検	高	130M	—	20回	1次系真空破壊弁検査	
		よう薬除去薬品タンクパキエームリリーフ弁	1. 開放点検	高	1F	○	24回	エアニューラス循環排気系機能検査	
			1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	24回	エアニューラス循環排気系フィルター性能検査	A系、B系交互に実施
		A, Bエアニューラス空気浄化フィルターユニット	1. よう薬フィルタ性能検査 (漏えい率検査)	高	1F	○	24回	エアニューラス循環排気系フィルター性能検査	
			2. 開放点検 (フィルター取替)	高	X※	—	24回		※よう薬フィルタ性能検査結果により適宜実施
		A系	1. 機能・性能試験	高	4F	○	24回	1次系換気空調設備検査	
2. 開放点検	高		4F	—	22回				
B系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査			
	2. 開放点検	高	4F	—	22回				
Aエアニューラス空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)		
	2. 分解点検 (ファン)	高	260M	○	20回				
Bエアニューラス空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験 (電動機)	高	78M	—	22回				
	2. 分解点検 (ファン)	高	260M	○	24回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)		
安全補機室空気浄化フィルターユニット	1. 機能・性能検査 (よう薬フィルタ性能検査)	高	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査			
	2. 開放点検 (フィルター取替)	高	X※	—	24回		※よう薬フィルタ性能検査結果により適宜実施		
A安全補機室空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	4F	—	22回				
	2. 分解点検 (ファン)	高	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)		
B安全補機室空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験 (電動機)	高	260M	—	20回				
	2. 分解点検 (ファン)	高	78M	—	23回				
	1. 機能・性能試験	高	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)		
	2. 分解点検 (ファン)	高	260M	—	21回				
		高	78M	—	24回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)
原子力設備 【その他設備】	クラス3機器、クラス4管、排気筒及び安全上重要なダクト耐圧部 (クラス3機器ISは除く)	1. 外観点検	高・低	5V~10V	○	24回	構造健全性検査	
	レストレイント 1. 1次冷却材管はウオッシュレット 2. 主蒸気配管はウオッシュレット 3. 主給水配管はウオッシュレット	1. 漏えい試験 1. 外観点検	高	1F	○	24回	構造健全性検査 レストレイント検査	
原子力設備【その他設備】	原子力設備【その他設備】その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 1. 分解点検他	高・低	B 130M 13M~130M 12M~150M	○ ○ ○ ○	23回 24回 24回 24回	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	一部BMあり 一部先行実施 保全の有効性評価結果No. 25の反映
	原子力設備【その他設備】	1. 外観点検	高・低	100%/10V	○	24回	耐震健全性検査	
耐震クラスS、Bに属する設備の支持構造物 (クラス1、2、3共用期間中検査) その他AM (格納容器内注水) 機器 高圧タービン	1. 外観点検 1. 外観点検他 2. 組立状態点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	52M~182M 39M B 13M	○ ○ ○ ○	24回 23回 23回 24回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No. 26の反映	
	第1低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 (軸受箱内部清掃他) 3. 簡易点検 (軸受箱内部)	高	39M 2回/3F 13M	○ ○ ○	24回 23回 24回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No. 28の反映 保全の有効性評価結果No. 27の反映
第2低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 (軸受箱内部清掃他) 3. 簡易点検 (軸受箱内部)	高	39M 2回/3F 13M	○ ○ ○	24回 23回 24回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No. 30の反映 保全の有効性評価結果No. 29の反映	
	第3低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 (軸受箱内部清掃他) 3. 簡易点検 (軸受箱内部)	高	39M 2回/3F 13M	○ ○ ○	24回 23回 24回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No. 32の反映 保全の有効性評価結果No. 31の反映
ローター 蒸気タービン本体及び附属設備	1. 組立状況点検 2. 有傷点検	高	B 1F	○ ○	24回 24回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン性能検査	タービン開放時期に合わせて実施。 一部定期事業者検査起動後 定期事業者検査起動後	
	# 1 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
# 2 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査		
	# 3 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
# 4 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査		
	# 1 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
# 2 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査		
	# 3 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
# 4 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	A 1 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	—	23回	蒸気タービン開放検査	() 内は適用する設備診断技術)	
	A 2 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	—	21回	蒸気タービン開放検査		
	A 3 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
	B 1 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
	B 2 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	—	24回	蒸気タービン開放検査		
	B 3 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	—	21回	蒸気タービン開放検査		
	A 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
	A 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	—	24回	蒸気タービン開放検査		
	A 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
	B 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
	B 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	—	24回	蒸気タービン開放検査		
	B 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	—	24回	蒸気タービン開放検査		
	調速装置 (非常調速装置)	1. 外観点検	高	1F	○	○	24回		蒸気タービン付属設備機能検査
	復水、循環水系統	1. 機能、性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	○	24回		定期事業者検査起動後
	復水器	1. 開放点検	高	13M	○	○	24回		蒸気タービン開放検査
	A 循環水ポンプ・電動機	2. 防汚塗装		26M	○	○	24回		
		1. 分解点検 (電動機)	高	26M	—	—	24回		
		1. 分解点検 (電動機)	高	104M	—	—	22回		
		2. 簡易点検 (薬油ユニット作動油清浄度管理)		26M	—	—	24回		
	B 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	26M	○	○	23回		
		2. 簡易点検 (薬油ユニット作動油清浄度管理)		104M	—	—	23回		
		1. 分解点検 (電動機)	高	26M	○	○	23回		
	A 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	—	24回		(振動診断: 3M)
		1. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	—	19回		
	2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	○	24回			
B 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	—	23回	(振動診断: 3M)		
	1. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	—	11回			
	2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	○	24回			
C 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	○	22回	(振動診断: 3M)		
	1. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	—	16回			
	2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	○	24回			
A 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	○	23回	(振動診断: 6M (対象: 電動機)) 保全の有効性評価結果No. 33の反映		
	1. 分解点検 (電動機)	高	X	○	○	19回			
	2. 簡易点検 (ストレーナ清掃)		13M	○	○	24回			
B 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	—	24回	(振動診断: 6M (対象: 電動機)) 保全の有効性評価結果No. 34の反映		
	1. 分解点検 (電動機)	高	X	—	—	20回			
	2. 簡易点検 (ストレーナ清掃)		13M	○	○	24回			
C 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	—	24回	(振動診断: 6M (対象: 電動機)) 保全の有効性評価結果No. 35の反映		
	1. 分解点検 (電動機)	高	X	—	—	22回			
	2. 簡易点検 (ストレーナ清掃)		13M	○	○	24回			
蒸気タービン [復水器] その他機器	1. 分解点検他	高	78M~260M	○	○	24回			
	1. 分解点検他	低	13M~260M	○	○	24回	一部BMあり		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器]	3 A 湿分分離加熱器 副側	1. 開放点検	高	26M	—	24回	蒸気タービン開放検査	保全の有効性詳細結果No.36の反映
		2. 非破壊試験	高	130M	—	18回	蒸気タービン開放検査	
	3 A 湿分分離加熱器 管側 (発電機側)	1. 開放点検	高	130M	—	20回	蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験	高	130M	—	20回	—	
	3 B 湿分分離加熱器 副側	1. 開放点検	高	26M	○	23回	蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験	高	130M	—	19回	蒸気タービン開放検査	
	3 B 湿分分離加熱器 管側 (発電機側)	1. 開放点検	高	130M	—	19回	蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験	高	130M	—	21回	蒸気タービン開放検査	
	A 脱気器	1. 開放点検	高	26M	—	24回	2次系容器検査	
		2. 非破壊試験	高	130M	—	24回	2次系容器検査	
	B 脱気器	1. 開放点検	高	39M	—	24回	2次系容器検査	
		2. 非破壊試験	高	65M	—	22回	2次系熱交換器検査	
	第1 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	—	—	—	—	
		2. 漏えい試験	—	—	—	—	—	
		3. 非破壊試験	—	—	—	—	—	
	第1 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	—	—	—	—	
		2. 漏えい試験	—	—	—	—	—	
		3. 非破壊試験	—	—	—	—	—	
	第1 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	—	—	—	—	
		2. 漏えい試験	—	—	—	—	—	
		3. 非破壊試験	—	—	—	—	—	
	第2 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	—	—	—	—	
		2. 漏えい試験	—	—	—	—	—	
		3. 非破壊試験	—	—	—	—	—	
第2 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	—	—	—	—		
	2. 漏えい試験	—	—	—	—	—		
	3. 非破壊試験	—	—	—	—	—		
第2 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	—	—	—	—		
	2. 漏えい試験	—	—	—	—	—		
	3. 非破壊試験	—	—	—	—	—		
第3 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	—	—	—	—		
	2. 漏えい試験	—	—	—	—	—		
	3. 非破壊試験	—	—	—	—	—		
第3 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	—	—	—	—		
	2. 漏えい試験	—	—	—	—	—		
	3. 非破壊試験	—	—	—	—	—		
第3 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	—	—	—	—		
	2. 漏えい試験	—	—	—	—	—		
	3. 非破壊試験	—	—	—	—	—		
第4 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	—	—	—	—		
	2. 漏えい試験	—	—	—	—	—		
	3. 非破壊試験	—	—	—	—	—		
第4 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	—	—	—	—		
	2. 漏えい試験	—	—	—	—	—		
	3. 非破壊試験	—	—	—	—	—		
第4 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	—	—	—	—		
	2. 漏えい試験	—	—	—	—	—		
	3. 非破壊試験	—	—	—	—	—		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕 蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	第6 A 高圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	130M B	— — —	19回 19回 17回	2次系熱交換器検査	
	第6 B 高圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	130M B	— — —	19回 19回 18回	2次系熱交換器検査	
	クランプト蒸気復水器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	65M B	— — —	23回 23回 18回	2次系熱交換器検査	
	給水、復水系統	1. 機能・性能試験 (ポンプ) 2. 非破壊試験	高	130M 1F	— ○	— 24回	蒸気タービン附属設備機能検査	定期事業者検査起動後
	Aタービン動主給水ポンプ	1. 機能・性能試験 (ポンプ) 2. 非破壊試験	高	B B	— —	24回 24回	2次系ポンプ機能検査	
	Bタービン動主給水ポンプ	1. 機能・性能試験 (ポンプ) 2. 分解点検 (運転タービン) 3. 簡易点検 (オイルフィルタ取替)	高	B B 52M 26M 13M	— — — — ○	— — — — 24回	2次系ポンプ分解検査	保全の有効性評価結果No.37の反映
	電動主給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ) 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (オイルフィルタ取替)	高	52M 13M	— ○	— 24回	2次系ポンプ分解検査	保全の有効性評価結果No.38の反映
	Aタービン動主給水ブースタポンプ	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 簡易点検 (ストレーナ点検)	高	52M 13M	— ○	— 24回		
	Bタービン動主給水ブースタポンプ	1. 分解点検 (ストレーナ点検) 2. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	52M 13M	— ○	— 24回		
	電動主給水ブースタポンプ	1. 分解点検 (潤滑油入替)	高	130M 13M	— ○	— 24回		
	A復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	104M 104M 13M	— — ○	— — 24回		保全の有効性評価結果No.39の反映
	B復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	104M 104M 13M	— — ○	— — 24回		保全の有効性評価結果No.40の反映
C復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	104M 104M 13M	— — ○	— — 24回		保全の有効性評価結果No.41の反映	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)	
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び び貯水設備並びに給水処理設備]	A 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	21回	2次系容器検査		
	B 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	22回	2次系容器検査		
	C 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	23回	2次系容器検査		
	D 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	24回	2次系容器検査		
	E 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	15回	2次系容器検査		
	復水タンク	1. 開放点検 2. 簡易点検 (通気管全網 清掃)	高	130M 13M	— ○	17回 24回		一部先行実施	
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等]	1式	1. 分解点検他 給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理 設備] その他機器	高 低	65M~260M 13M~260M	○ ○	24回 24回	蒸気タービン開放検査	一部先行実施 一部BMあり 一部先行実施	
	1式	1. 開放点検 2. 非破壊試験	高	13M	○	24回	蒸気タービン開放検査		
蒸気タービン [その他設備]	15個	1. 機能・性能試験 (駆動 部含む) 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラランドバス キンを取替)	高 高・低	肉厚管理指 針による 100%/10Y 肉厚管理指 針による	○ ○ ○	24回 24回 24回	2次系配管検査 2次系配管検査	定期事業者検査起動後	
	15個	1. 機能・性能試験 (特性試験) 2. 分解点検	高	13M 13M	○ ○	24回 24回	タービンバypass弁機能検査		
	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラランド入 替)	高・低	B 104M~130M 130M	○ — —	24回 20回	1次系安全弁検査 2次系弁検査 2次系安全弁検査 1次系通し弁検査 2次系弁検査		
	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラランド入 替)	高	B 182M 52M	○ ○ —	16回 16回 24回	2次系弁検査		
	1式	1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 低	13M~260M 12M~260M	○ ○	24回 24回		保全の有効性評価結果No.42,43の反映 一部BMあり 一部先行実施	
	1式	1. 開放点検	低	120M※1	○	37回※2	補助ボイラー開放検査	先行実施 ※1：前回点検後の運転時間が1,000時間 又は起動回数が120回に達すると見込まれる 時期までに実施する。 ※2：ボイラー定検回次、今回は38回定検 先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は38回定検	
	【補助ボイラー】 管寄せ及び管 安全弁 ボイラーに付属する給水設備 ボイラーに付属する通風設備 ボイラーに付属する管等 油燃焼用機器	1. 開放点検	高	117M~240M	○	33回※		先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は38回定検	
		2. 性能試験		B※1	○	37回※2		補助ボイラー性能検査 補助ボイラー設備検査	先行実施 ※1：補助ボイラー開放検査にあわせて実 施 ※2：ボイラー定検回次、今回は38回定検
		2. 性能試験 3. 簡易点検 (グラランドバス キンを取替)		1Y 12M~120M	○ ○	37回※ 37回※		先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は38回定検	
	1式	1. 開放点検	低	120M	—	36回※		先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は38回定検	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
補助ボイラー	【補助ボイラーに属するばい理処理設備】・補助ボイラー集じん機	1. 開放点検 2. 簡易点検 (内部清掃)	低	120M~240M	○	30回※		先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は38回定検
	補助ボイラー [その他設備] その他機器	1. 分解点検他	低	12M~240M	○	37回※		先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は38回定検
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	浸水防止蓋	1. 式	高	1F	○	24回		21回施設定検時に設置
	伝播防止堰	1. 式	高	10Y	—	—		プラント運転中又はは定期事業者検査停止中
	水密扉	1. 式	高	1Y	○	24回		計測用緊急監視機能検査
	2次系制御装置	1. 式	高	13M	○	24回		
	津波監視カメラ	2台	高	1F	○	24回		
	蒸気漏えい検知システム	1. 式	低	1F	○	24回		
	湧水ビット排水系統	2. 外観点検	低	1F	○	24回		浸水防護設備検査
	湧水ポンプ (吐出ラインを含む)	1. 機能・性能試験 (ポンプ・電動機含む) 1. 分解点検 (ポンプ)	低	1Y	○	24回		※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ実施 (振動診断: 1Y (対象: 電動機)) プラント運転中又はは定期事業者検査停止中
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	低	CBM	○	22回		
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	低	B 130M	—	23回		浸水防護設備検査
その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備]	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他機器	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	低	B 182M	—	18回		浸水防護設備検査
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他機器	1. 外観点検	高・低	1F~8F	○	24回		プラント運転中又はは定期事業者検査停止中
	発電機設備	1. 分解点検他	高・低	13M~208M	○	24回		
	変圧器設備	1. 分解点検他	高	39M~156M	○	24回		
	シヤ断器	1. 分解点検他	高	52M~156M	—	24回		
	その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備] その他機器	1. 分解点検他	高	26M~104M	○	24回		
	消火水バックアップポンプ・電動機	1. 分解点検他	低	13M~240M	○	24回		
	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	低	B※ 10F	—	—	—		※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせ実施 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加
	煙等流入防止装置	1. 分解点検	低	260M	—	—		21回施設定期検査より追加 21回施設定期検査より追加
	その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護施設]	その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護施設] その他機器	1. 分解点検他	高・低	5Y~10Y	○	23回	
ディーゼル発電機		1. 機能・性能試験	高	1F	○	24回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査) 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査)
安全注入 (信号及び格納容器スプレイ信号発信時にディーゼル発電機に電源を求めらる機器		1. 機能・性能試験	高	1F	○	24回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)
Aデディーゼル機関のシンク (ピストン、ピストン連接棒、シリンダカバー、クランク軸)		1. 分解点検	高	130M	—	21回		非常用ディーゼル発電機分解検査
		1. 分解点検	高	130M	—	23回		非常用ディーゼル発電機分解検査
		1. 分解点検	高	130M	—	24回		非常用ディーゼル発電機分解検査
		1. 分解点検	高	130M	—	20回		非常用ディーゼル発電機分解検査
		1. 分解点検	高	130M	—	21回		非常用ディーゼル発電機分解検査

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)	
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置]	Bディーゼル機周のシリンダ (ピストン・ピストン連接棒、シリンダカバ、クランク軸) Aディーゼル機周の吸気弁 Bディーゼル機周の排気弁 Aディーゼル機周の排気弁 Bディーゼル機周の排気弁 Aディーゼル機周の燃料噴射弁 Bディーゼル機周の燃料噴射弁 ディーゼル発電機付属設備 空冷式非常用発電装置 ガスタービン発電装置	No. 1, 8	1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 2, 3, 9, 10	1. 分解点検	高	130M	—	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 4, 5, 11, 12	1. 分解点検	高	130M	○	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 6, 13	1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 7, 14	1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
			1. 分解点検	高	26M	—	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
			1. 分解点検	高	26M	○	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
			1. 分解点検	高	26M	—	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
			1. 分解点検	高	26M	○	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
			1. 分解点検	高	13M	○	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
			1. 分解点検	高	13M	○	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
			1. 外観点検	高	1F	○	24回	非常用予備発電機付属設備検査	
			2. 非破壊試験	高・低	13M~78M	○	24回	非常用予備発電機付属設備検査	
			3. 機能・性能試験	高	1F~10F	○	24回	非常用予備発電機付属設備検査	
	4. 特性試験	高・低	13M	○	24回	非常用予備発電機付属設備検査			
	1. 機能・性能試験	高	1F	○	24回	その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検査			
	2. 取替他		130M	—	—	—	21回施設定検時に設置		
	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	—	24回定期事業者検査時に設置		
	2. 閉路点検		23M	—	—	—	24回定期事業者検査より追加		
	3. 外観点検		1F	○	—	—	その他非常用発電装置の分解検査		
	4. 簡略点検 (潤滑油入替他)		13M~234M	○	—	—	その他非常用発電装置の機能検査		
	5. 細密点検 (発電機)		104M	—	—	—	その他非常用発電装置の機能検査		
	6. 燃料制御ユニット取替		78M	—	—	—	その他非常用発電装置の機能検査		
	7. 保護継電器点検		65M	—	—	—	その他非常用発電装置の付属設備検査		
	8. 計器用変換器取替		156M	—	—	—	その他非常用発電装置の付属設備検査		
可搬式代替低圧注水ポンプ用電源車	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	24回	可搬式代替電源設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中	
緊急時対策用電源車	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	24回	可搬式代替電源設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中	
電源車	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	24回	可搬式代替電源設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中	
タンクローリー	3台	1. 機能点検	高	1Y	○	24回	可搬式代替電源設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中	
非常用電源設備 [非常用発電装置] その他機器	1式	1. 分解点検他	低	13M~208M	○	24回	可搬式代替電源設備検査	一部BMあり	
		1. 分解点検他	低	13M~182M	○	24回	可搬式代替電源設備検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置]	直流電源装置蓄電池	2組 (60個/組) 1.機能・性能試験 (作動機能) 2.簡易点検 (充電)	高	1F 1F 2回/1Y	○ ○ ○	24回 24回 24回	直流電源系機能検査 直流電源系作動検査	
	直流電源装置蓄電池 (3系統目)	1組 (64個/組) 1.機能・性能試験 (作動機能) 2.簡易点検 (充電)	高	1F 1F	○ ○	— —	直流電源系機能検査 直流電源系作動検査	24回定期事業者検査より追加 プラント運転中
	E S 直流電源装置蓄電池	1組 (60個/組) 1.機能・性能試験 (作動機能) 2.簡易点検 (充電)	高	1F 1F	○ ○	— —	直流電源系機能検査 直流電源系作動検査	24回定期事業者検査より追加
	計器用電源	4台 1.機能・性能試験 (作動機能) 2.簡易点検 (充電)	高	1F 13M	○ ○	24回 24回	インバート機能検査	
	可搬型バッテリー (加圧器逃がし弁用)	2個 1.機能・性能試験 (作動機能) 2.簡易点検 (充電)	高	1F 1F	○ ○	24回 24回		
	可搬式整流器	2個 1.機能・性能試験 (作動機能) 2.簡易点検 (充電)	高	1F 1F	○ ○	24回 24回		
	非常用電源設備 [その他の電源装置] その他の機器	1式 1.分解点検他	高	6M~180M	○	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	原子炉建屋	1式 1.外観点検	低 高・低	13M~180M 1F	○ ○	24回 24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	外周建屋	1式 1.外観点検	高	1Y	○	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	中間建屋	1式 1.外観点検	高	1Y	○	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
土木建築設備	原子炉補助建屋	1式 1.外観点検	高	1Y	○	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	燃料取扱建屋	1式 1.外観点検	高	1Y	○	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	燃料取替用水タンク建屋	1式 1.外観点検	高	1Y	○	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	燃料取扱建屋	1式 1.外観点検	高	1Y	○	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	ディーゼル発電機建屋	1式 1.外観点検	高	1Y	○	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	1・2号機原子炉補助建屋	1式 1.外観点検	高	1Y	○	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	固体廃棄物貯蔵庫	1式 1.外観点検	低	1Y	○	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	取水口設備	1式 1.外観点検	高	1Y~1F	○	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	連続地中壁	1式 1.外観点検	低	1Y	○	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	抑止くい	1式 1.外観点検	低	1Y	○	24回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
プラント総合 非常用取水設備 [取水設備]	原子炉及びその附属設備 (補助ボイラー及び非常用予備差圧維持装置を除く)	1.総合性能試験	高	1F	○	24回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後
	海水取水トンネル	1式 1.外観点検	高	4Y	—	23回		

クラス1 機器供用期間中検査 供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査

1. 原子炉容器(1/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考	
							2018年 第23保全 サイクル	2019年	2020年 第24保全 サイクル	2021年	2022年 第25保全 サイクル	2023年 第26保全 サイクル	2024年 第27保全 サイクル		
B1.102	B-A	下部胴の長手溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	可能範囲 各100%	-	可能範囲 各100%	-	可能範囲 各100%	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5% ※2	1	水中UT (内面)	5% ※2	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B3.105	B-C	下部胴とトランジヨニングとの周溶接継手	体積	5% ※2	1	水中UT (内面)	5% ※2	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	可能範囲 各100%	-	可能範囲 各100%	-	可能範囲 各100%	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B3.20	B-D	冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	可能範囲 各100%	-	可能範囲 各100%	-	可能範囲 各100%	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手(呼び径100A以上)	体積及び表面	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面) PT	可能範囲 各100%	A (PT) 100%	可能範囲 各100%	C (PT) 100%	可能範囲 各100%	可能範囲 各100%	可能範囲 各100%	可能範囲 各100%	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	58	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	100% 58	13	17	10	18	18	18	18	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	58	UT	100% 58	13	17	10	18	18	18	18	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58	UT	100% 58	-	20	19	19	19	19	19	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B6.50	B-G-1	ワッシャ	VT-1	100%	58	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	100% 58	13	17	10	18	18	18	18	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B7.10	B-G-2	マーマンカンブリング	VT-1	25%	3	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	25% 1	-	-	1	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす異種その他の欠陥の解釈」(令和五年6月5日原規技審議(906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。))の施行及び公開会「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和五年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 2020年7月1日より維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「5%」は「可能範囲100%」と読み替える。

1. 原子炉容器(2/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)					備考
								2018年 第23保全 サイクル	2019年	2020年 第24保全 サイクル	2021年 第25保全 サイクル	2022年 第26保全 サイクル	
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3	全範囲の7.5% 各検査時期毎 ※2	1	VT-3	可能範囲 100% 各検査時期毎	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%	1	VT-3	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		下部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%	1	VT-3	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		炉心内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%	4	VT-3	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の7.5%	1	VT-3	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の7.5%	1	VT-3	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部)	体積又は 表面	最外周の2.5% 最外周の2.5% (全5.5%)	最外周20 (全5.2%) 最外周2.3 (全5.5%)	PT	最外周の2.5%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		最外周の2.5%					-	3	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物 (サポートブラケット、 サポートシユュー、基礎ボルト)	VT-3	2.5%	6	VT-3	2.5% 2	-	A出口 1	C出口 1	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす破損その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂発現NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 2020年7月1日より維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「全範囲の7.5% 各検査時期毎」は「全範囲の7.5%」と読み替える。

2. 加圧器(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1		高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (7カ年)										備 考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2018年 第23保全 サイクル	2019年	2020年 第24保全 サイクル	2021年 第25保全 サイクル		2022年 第26保全 サイクル	2023年 第27保全 サイクル	2024年	
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡板との周継手	体積	5%	1	UT	5%	-	-	5%					(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
		下部胴と下部鏡板との周継手	体積	5%	1	UT	5%	-	-			5%			(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
B2.12	B-B	上部胴の長手継手	体積	各10%	2	UT	各10%	A10%	-			B10%			(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
		下部胴の長手継手	体積	各10%	2	UT	各10%		-	A10%			B10%		(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
B2.13	B-B	上部胴と下部胴との周継手	体積	5%	1	UT	5%	-	-			5%			(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積	25%	6	UT	25% ₂	-	-	1(サー ジ管台)				1(スプ レイ管 台)	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体積	25%	6	UT	25% ₂	-	-	1(サー ジ管台)					(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
		管台とサーフェンドの溶接継手 (呼び径100A以上)														
		加圧器逃がし弁管台				1										
		加圧器安全弁管台	体積及び 表面	25%	3	UT PT	25% ₂									(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		加圧器スプレイ管台				1			1							
B5.40	B-F	加圧器サージ管台			1											
		マンホールの取付けボルト	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	25% ₄	16		25% ₄	1	-	1			2		(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
B7.20	B-G-2	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)	表面	7.5%	1	PT	7.5%	-	-	7.5%					(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%		-		可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
F1.41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト)	VT-3	25%	1	VT-3	25% ₁		-				1		(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原相指発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出NRA文書改正という。)の施行及び公開会「(原子炉圧力容器の溶接手の試験程度等)新規要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

3. 蒸気発生器(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機械検査計画(7カ年)							備考
								2018年 第23保全 サイクル	2019年	2020年 第24保全 サイクル	2021年 第25保全 サイクル	2022年 第26保全 サイクル	2023年 第27保全 サイクル	2024年	
B2.40	B-B	管板と水室鏡との溶接継手	体積	1基の 25%	3	UT	1基の 25%	-	C 9%	-	C 8%	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分、 冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体積	1基の 25%	6	UT	1基の 25%	-	-	-	C 入口 1	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継 手 冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継 手 (呼び径100A以上)	体積及び 表面	1基の 25%	6	UT PT	1基の 25%	A 入口 1 (UT) (ECT) (*1)	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
B7.30	B-G-2	1次側マンホールの取付けボルト	VT-1	1基の 25%	96	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	1基の 25%	-	-	-	C 入口 2	C 入口 3	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	-	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3	1基の 25%	12	VT-3	1基の 25%	-	C 1	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の探知」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂探知NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
(*1)代替試験として内面ECTを合わせて実施

4. 配管(1/3)			高圧発電所第3号機検査計画(7カ年)											備考									
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設置数	検査方法	検査の範囲及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年									
								第28回全サイクル	-	第24回全サイクル	第25回全サイクル	第26回全サイクル	第27回全サイクル										
B7.50	B-G-2	圧力保持用ホルト部付付部 (内径50mm以下)	VT-1	25%	3	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	25% 1																
								配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	25%	46	UT	12	25% 12					A1 B1 C1	A1 C1			(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
										体積	7	UT	2	25% 2					1				(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		体積	30	UT	8	25% 8						A1 B1		C2 C1			(重大事故等クラス2機器)						
		体積	12	UT	3	25% 3						-	1					(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)					
		体積	50	UT	13	25% 13						A2 C1		A2 C1									
		体積	1	UT	1	25% 1						-				1							
		B8.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)	体積	25%	41	UT	11	25% 11					B1 C1	B1 C1			(重大事故等クラス2機器)				
						体積	32	UT	8	25% 8					A1 B1		C1 B1			(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)			
						体積	30	UT	8	25% 8					A1 B1		B1 B1	A1					
						体積	44	UT	11	25% 11					A1 B1		B1 C2	A1			(重大事故等クラス2機器)		
						体積	6	UT	2	25% 2					-	1							
体積	20					PT	5	25% 5					1	2		1				(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)			
B8.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%	19	PT	5	25% 5							2								
				表面	4	PT	1	25% 1															
				表面	7	PT	2	25% 2									A1			(重大事故等クラス2機器)			
				表面	31	PT	8	25% 8									C3 C1						
				表面	8	PT	2	25% 2									B1			(重大事故等クラス2機器)			
				表面	3	PT	1	25% 1										A1					

※1: NRI文書「使用済原子炉廃止工程における廃止措置に係る検査計画(令和三年六月五日原研特第000651号)の改正版(以下、参照事項を修正という)の発行及び公開(令和三年六月五日原研特第000651号)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。

4. 配管(2/3)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高圧発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考					
								2018年 第23回全 サイクル	2019年 -	2020年 第24回全 サイクル	2021年 第25回全 サイクル	2022年 第26回全 サイクル	2023年 第27回全 サイクル	2024年 第28回全 サイクル						
B9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%	12	PT	25% 3													
B9.31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	25%	11	UT	25% 3													
B9.32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%	17	PT	25% 5													
B9.40	B-J	ソケット溶接継手	表面	25%	6	PT	25% 2													
B9.40	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%	3	PT	25% 1													
B9.40	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	25%	11	UT	25% 3													

※1: 配管「実用発電用原子炉設備規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1」の施行及び公開適合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新規要件に関する事業者意見の聴取にかかる適合」(令和元年8月5日)の経典(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年/月/日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

※2: 簡易りん酸「新築調整工事」に「呼び径100A未満」の配管は、2019年度中の計画変更を踏まえ、2020年/月/日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

4. 配管(3/3)

配電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1		高圧発電所 第3号 機械検査計画(7カ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2018年 第28回完全サイクル	2019年	2020年 第24回完全サイクル	2021年 可能範囲 100%		2022年 第25回完全サイクル 可能範囲 100%	2023年 第26回完全サイクル 可能範囲 100%	2024年 第27回完全サイクル 可能範囲 100%
B15.50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		支持構造物													
		加圧器サージ管	VT-3	25%	9	VT-3	25% 3	-	-	-	1	1	1	1	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		加圧器逃がし弁ライン	VT-3	25%	19	VT-3	25% 5	1	-	-	2	1	1	1	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		加圧器スプレイレイン A, B, Cグループ	VT-3	25%	62	VT-3	25% 16	A2 C2	-	A1 C1	C2 C1	A2 C1	A2 C3	C3	
		余熱除蒸ポンプ投入ライン A, B, Cグループ	VT-3	25%	37	VT-3	25% 10	B1	-	-	B2 C2	B1 C1	B1 C1	B1 C1	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器補助スプレイレイン	VT-3	25%	22	VT-3	25% 6	-	-	-	2	2	2	2	(重大事故等クラス2機器)
		CVO5充てんライン Bグループ	VT-3	25%	6	VT-3	25% 2	-	-	-	B1	B1			(重大事故等クラス2機器)
	F-A	抽出・糸刺抽出及びドレンライン A, B, Cグループ	VT-3	25%	32	VT-3	25% 8	A1 B1	-	A1 C2		B1	A1 C1	A1 C1	
		1次冷却材ポンプ射水注入ライン A, B, Cグループ	VT-3	25%	19	VT-3	25% 5	A1	-	B1		C1	A1 B1	A1 B1	
		SIS蓄圧注入ライン A, B, Cグループ	VT-3	25%	32	VT-3	25% 8	A1 B1	-	C1		A1 B1	B1 C1	C2	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		SIS高圧側低圧注入ライン A, B, Cグループ	VT-3	25%	21	VT-3	25% 6	B1	-	-	A1	A1	A1	B1	
		SIS低圧側低圧注入ライン A, B, Cグループ	VT-3	25%	27	VT-3	25% 7	A1 B1	-	-	A1 C1	B1	B1	C2	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		SIS高圧側補助注入ライン A, B, Cグループ	VT-3	25%	22	VT-3	25% 6	A1 B1	-	-	C1	B1	B1	C1	
		SIS低圧側補助注入ライン A, B, Cグループ	VT-3	25%	13	VT-3	25% 4	A1	-	B1		C1	C1	A1	(重大事故等クラス1機器)
		SIS低圧側ほう酸注入ライン A, B, Cグループ	VT-3	25%	24	VT-3	25% 6	A1 B1	-	C1		A1	B1	C1	(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「原子力発電用原子炉及びその附属施設における機器を引継ぎする事業者間の取組にかかわる委員会(令和元年8月5日)」の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: NRA文書「原子力発電用原子炉及びその附属施設における機器を引継ぎする事業者間の取組にかかわる委員会(令和元年8月5日)」の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

5. 1 次冷却材ポンプ(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考
								2018年 第23保全 サイクル	2019年	2020年 第24保全 サイクル	2021年 第25保全 サイクル	2022年 第26保全 サイクル	2023年 第27保全 サイクル	2024年 第28保全 サイクル	
B6.180	B-G-1	スタッドボルト	体積	1台の25%	72	UT (装着時又は 取外し時)	1台の25% 6	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B6.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1	1台の25%	72	VT-1	1台の25% 6	-	-	-	-	-	-	-	ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B6.200	B-G-1	ナット	VT-1	1台の25%	72	VT-1 (濡えい時又は 取外し時)	1台の25% 6	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		ワッシャ	VT-1	1台の25%	72	VT-1 (濡えい時又は 取外し時)	1台の25% 6	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	1	3	VT-3	1	-	-	-	-	-	-	-	ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚、ベースプレート、 基礎ボルト)	VT-3	1台の25%	9	VT-3	1台の25% 1	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(令和元年8月5日)の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

6. 井(1/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(7か年)						備考	
								2018年 第23検査 サイクル	2019年 第24検査 サイクル	2020年 第25検査 サイクル	2021年 第26検査 サイクル	2022年 第27検査 サイクル	2023年 第28検査 サイクル		2024年 第29検査 サイクル
B7.70	B-6-2	圧力保持用ポート補付け部 (直径50mm以下)													
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	2.4	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 1.8	3V-R0-057 8	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器漏れし弁ライン	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	3.0	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 1.0	-	3V-R0-054A 1.0	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		加圧器安全弁ライン 3V-R0-054A 3V-R0-054B 3V-R0-054C	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	1.8	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 0.6	-	3PV-455B 6	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		加圧器安全弁ライン A, Cライン	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	1.6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 0.8	-	-	3PV-454A 8	-	-	-	-	
		加圧器補助スプレイレイン	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 0.6	-	-	-	3V-C8-225 6	-	-	-	
		CVC9冷却ライン Bグループ	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	2.0	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 1.0	-	-	-	-	3V-C8-204 1.0	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		抽出・蒸気抽出及びドレンライン A, B, Cグループ	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	2.4	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 0.8	-	-	-	-	-	3V-R0-019A 8	-	
		加圧器安全弁ライン 3V-R0-017	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	1.0	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 1.0	-	-	-	3V-R0-017 1.0	-	-	-	
		加圧器安全弁ライン 3L0V-451 3L0V-452	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	1.2	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 0.6	-	-	-	3L0V-451 6	-	-	-	
		加圧器安全弁ライン 3PV-420 3PV-430	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	3.6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 1.8	-	-	-	-	3PV-430 1.8	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器安全弁ライン 3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	3.6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 1.8	-	-	-	-	-	3V-RH-003A 1.8	-	(重大事故等クラス2機器)
		SIS補圧注入ライン A, B, Cグループ	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	9.6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 1.6	-	-	-	-	-	-	3V-SI-136B 1.6	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
SIS低置側低圧注入ライン A, Bグループ	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	5.6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 1.4	-	-	-	-	-	-	3V-SI-208B 1.4			
SIS低置側低圧注入ライン A, B, Cグループ	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	8.4	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 1.4	-	-	-	-	-	-	-	3V-SI-203C 1.4	(重大事故等クラス2機器)	

※1: 類似井(実用発電用原子炉及びその附属施設)における設備を引継ぎする機器その他の欠陥の解除(令和元年9月5日原研技術第100051号)の改正版(以下、福島県原子力安全委員会「原子力発電所等」の発行及び公開を含む)の発行及び公開(令和元年9月5日)の結果(2019年度中の計画年度)を指す。2020年7月1日より維持整備「3配 S MI-2012/2013/2014」を適用する。

6. 表(2/2)

項目番号		カテゴリ		高浜発電所第3号機検査計画(7ヵ年)										備考			
発電用原子炉設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MI-2003※1				検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2018年 第23回全 サイクル	2019年 第24回全 サイクル	2020年 第25回全 サイクル	2021年 第26回全 サイクル	2022年 第27回全 サイクル	2023年 第28回全 サイクル	2024年 第29回全 サイクル	
B1.70	B-6-2	圧力保持用バルブ検付作部 (直径5.0mm以下)	S I S 高濃縮補動注入ライン A, B, Cグループ	3V-SI-088	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	14	VT-1 (構えい時又は 取外し時)	類似井ごと 1台の25%	-	-	-	-	-	3V-SI-088 14		
				弁本体の内表面													
B1.50	B-W-2	加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	3	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	-	3V-RC-055	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
			3PV-420 3PV-430 3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	2	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	2	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	-	3PV-420	-	-	-	-
B1.41	F-A	加圧器サブレイライン A, Cグループ	3V-SI-134A, 136A 3V-SI-136B, 138B 3V-SI-134C, 136C	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	6	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	3V-SI-136A	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
			S I S 高濃縮補動注入ライン A, Bグループ	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	4	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	4	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	-	-	-	-	-	-
B1.70	B-P	加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	3	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	3V-RC-057	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
			3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054C	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	6	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	6	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	-	3V-RC-054A	-	-	-	-
F1.41	F-A	加圧器サブレイライン A, Cグループ	3PV-455A 3PV-455B 3PV-454C	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	6	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	3PV-455B	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
			3PV-454A 3PV-454B	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	4	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	4	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	-	3PV-454A	-	-	-	-
F1.41	F-A	加圧器補動サブレイライン A, Cグループ	3V-CS-225	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	1	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	3V-CS-225	-	-	-	-	-	-	-	
			3LW-451 3LW-452	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	4	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	4	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	-	-	-	3LW-451	-	-
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	3PV-420 3PV-430	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	4	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	3PV-420	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
			3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	4	VT-3	類似井ごとに 1台の25%	4	VT-3	類似井ごと 1台の25%	-	-	-	3V-RH-003A	-	-

※1: NRI文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における稼働を引越す際のリスクとその対応策(以下、集積線形領域文書改訂版)」の発行及び公開宣言「(原子炉圧力容器の溶接部手前の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる査点」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格「JSME S MI-2012/2013/2014」を適用する。

2. 配管 (1/5)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1		高圧発電所第3号機械検査計画(10カ年)										備考										
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年				
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手 糸熱除去ポンプ吸入ライン (318.50mm, 355.60mm) A、Bライン 糸熱除去ポンプ出口ライン (267.40mm) A、Bライン S I S 高温側低圧注入ライン (267.40mm) Aライン S I S 低温側低圧注入ライン (165.20mm, 267.40mm) A、B、Cライン S I S 高温側補助注入ライン (60.50mm, 89.10mm) A、B、C、共通ライン S I S 低温側補助注入ライン (60.50mm) 共通ライン 補助注入ライン (89.10mm, 114.30mm) S I S 低温側ほう筒注入ライン (89.10mm) 共通ライン 充てん/蓄圧注入ポンプ吸入ライン (216.30mm) 充てん/蓄圧注入ポンプ出口ライン (89.10mm, 114.30mm) 1次冷却材管高温側高圧注入ライン (89.10mm) 1次冷却材管低温側高圧注入ライン (89.10mm) 1次冷却材管高温側高圧注入ライン (89.10mm) ほう筒注入タンク入口側 (89.10mm) ほう筒注入タンク出口側 (355.60mm) A、Bライン	表面	7.5%	12	PT	7.5%	A 1	-	-	第29回完全サイクル	第29回完全サイクル	-	第24回完全サイクル	第25回完全サイクル	第26回完全サイクル	第27回完全サイクル		(重大事故等クラス2機器)			
			表面	7.5%	3	PT	7.5%	A 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		(重大事故等クラス2機器)	
			表面	7.5%	4	PT	7.5%		A 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	11	PT	7.5%			-	-	-	-	-	-	A 1	-	-	-	-		(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	10	PT	7.5%			-	-	-	-	-	-	共通1	-	-	-	-		(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	2	PT	7.5%			-	-	-	-	-	-	-	-	-	共通1	-		(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	4	PT	7.5%			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	3	PT	7.5%			共通1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	3	PT	7.5%			1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	3	PT	7.5%				-	-	1	-	-	-	-	-	-	-		(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	2	PT	7.5%				-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	2	PT	7.5%				-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	2	PT	7.5%				-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	2	PT	7.5%				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における防護を引き起こす事故その他の欠陥の排除」(令和元年6月5日原簿送第1906051号)の改正版(以下、亀裂群検出検査等)新編制要件に関する事業者意見の聴取にかかると(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

2. 配管 (2/5)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
05.11 C-F	配管の屈曲部分の溶接継手(呼び径100Aを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの) A. Bライン A. Bライン	体積又は表面	7.5%	62	PT	7.5%	A1											
		体積及び表面	7.5%	17	UT PT	7.5%	A1	A1(P T)										
		体積及び表面	7.5%	60	UT PT	7.5%	A1 B1	A1(P T)										
		体積又は表面	7.5%	25	PT	7.5%		A1										

※1: NRA文書「運用発電用圧力及びその附属施設における破壊を引き起こす可能性を評価する」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: NRA文書「運用発電用圧力及びその附属施設における破壊を引き起こす可能性を評価する」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※3: NRA文書「運用発電用圧力及びその附属施設における破壊を引き起こす可能性を評価する」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

2. 配管 (3/5)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
							2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年							
05.21	0-F	配管の高圧部分の溶接継手(呼び径50A以上100A以下で公称肉厚5mmを越えるもの) S1S高温側補助注入ライン (2B.3B.60.50mm.89.10mm) A. B. C. 共通ライン S1S低温側補助注入ライン (2B.3B.60.50mm.89.10mm) A. B. C. 共通ライン	表面	7.5%	119	PT	第21保安サイクル	第22保安サイクル	第23保安サイクル	第24保安サイクル	第25保安サイクル	第26保安サイクル	第27保安サイクル										
							第21保安サイクル	第22保安サイクル	第23保安サイクル	第24保安サイクル	第25保安サイクル	第26保安サイクル	第27保安サイクル										
05.30	0-F	配管の高圧部分の溶接継手(ソケット溶接継手) S1S高温側補助注入ライン (2B. A. B. Cライン) S1S低温側補助注入ライン (2B. A. B. Cライン) S1S低温側ほう酸注入ライン (2B. A. B. Cライン)	表面	7.5%	65	PT	第21保安サイクル	第22保安サイクル	第23保安サイクル	第24保安サイクル	第25保安サイクル	第26保安サイクル	第27保安サイクル										
							第21保安サイクル	第22保安サイクル	第23保安サイクル	第24保安サイクル	第25保安サイクル	第26保安サイクル	第27保安サイクル										
05.41	0-F	配管の高圧部分の溶接継手(呼び径50Aを超える、母管と管台及び母管と枝管) 補助注入ライン (3B) 充てん/高圧注入ポンプ出口ライン (3B)	表面	7.5%	35	PT	第21保安サイクル	第22保安サイクル	第23保安サイクル	第24保安サイクル	第25保安サイクル	第26保安サイクル	第27保安サイクル										
							第21保安サイクル	第22保安サイクル	第23保安サイクル	第24保安サイクル	第25保安サイクル	第26保安サイクル	第27保安サイクル										

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす高度その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原稿送付第1906051号)の改正版(以下、電設研報NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

2. 配管 (4/5)

項目 番号		発電用原子力設備規格 (2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)												備考		
		検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2023年	2024年
		支持構造物																
		余熱除去ポンプ入ロライン A、Bライン	VT-3	7.5%	52	VT-3	7.5% 4	A1										
		余熱除去ポンプ出ロライン A、Bライン	VT-3	7.5%	80	VT-3	7.5% 6	A1 B1										
		SIS 高温側低圧注入ライン Aライン	VT-3	7.5%	20	VT-3	7.5% 2		A1									
		SIS 低温側低圧注入ライン A、B、Cライン	VT-3	7.5%	46	VT-3	7.5% 4		A1									
F1.21	F-A	補助注入ライン	VT-3	7.5%	23	VT-3	7.5% 2	1										
		充てん/高圧注入ポンプ出ロライン	VT-3	7.5%	27	VT-3	7.5% 3	1										
		充てん/高圧注入ポンプ入ロライン	VT-3	7.5%	23	VT-3	7.5% 2	1										
		特種容器再循環サンプ出ロライン A、Bライン	VT-3	7.5%	16	VT-3	7.5% 2		A1									

※1: NP文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす可能性の低い設備の監視」(令和元年6月15日原規持参第1000051号)の改正版(以下、原規解釈MA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

2. 配管 (5/5)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (10カ年)										備 考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2018年 第23保安 サイクル	2019年 -	2020年 第24保安 サイクル	2021年 -		2022年 第25保安 サイクル	2023年 第26保安 サイクル	2024年 第27保安 サイクル	2025年 -	2026年 第28保安 サイクル	2027年 第29保安 サイクル	
F1.21	F-A	支持構造物																	
		SIS高温側補助注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%	83	VT-3	7.5%	C1	-	共通1			共通1	共通1	共通1	-	C1	共通2	
		SIS低温側補助注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%	56	VT-3	7.5%		-	A1			A1	共通1	共通1	-	共通1	A1	
		SIS低温側ほう酸注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%	59	VT-3	7.5%		-	A1			A1	共通1	-	A1	A1		(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす電裂その他の欠陥の発生」(令和元年6月5日原簿技術第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出NVA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

3. 余熱除去ポンプ (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)												備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年		2021年	2022年	2023年	2024年
C6.10	C-6	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	4	P T	1台の7.5% 1	第21保全サイクル		第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル		(重大事故等クラス2機器)
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	V T-3	1台の7.5%	4	V T-3	1台の7.5% 1			A 1		-	A 1					(重大事故等クラス2機器)

※1 - NRA文書「専用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす事故その他の次の種類の事故」(令和元年6月5日所掲塔架新1906051号)の改正版(以下、毎朝報新NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

4. 弁 (1/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高 兵 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (10ヶ年)										備 考
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
F1.43	F-A	支持構造物 余熱除去ポンプ吸入ライン A、Bライン 3V-RH-041A 3V-RH-041B 余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン 3V-RH-024A 3V-RH-024B 余熱除去ポンプ吸入ライン A、Bライン 3FCV-601 3FCV-611 余熱除去ポンプ吸入ライン A、Bライン 3HCV-603 3HCV-613 余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン 3FCV-604 3FCV-614 SIS 低温側低圧注入ライン A、Cライン 3V-SI-197A 3V-SI-197B SIS 高温側補助注入ライン 3V-SI-082 3V-SI-091 3V-SI-301 3V-SI-303 SIS 低温側補助注入ライン 3V-SI-094 3V-SI-302 SIS 低温側ほう酸注入ライン 3V-SI-002A 3V-SI-002B	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	4	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	(重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器)
								第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	
								第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	
								第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	
								第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	
								第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	
								第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	
								第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	
								第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	
								第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	
								第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	
								第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	
								第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	
								第2保安 サイクル	-	-	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	

※1. NRA文書「東海発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電線その他の欠陥の発生」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格「SME-S-NA1-2012/2013/2014」の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に備える事業者意見の聴取にかかる委員会」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格「SME-S-NA1-2012/2013/2014」を適用する。

4. 弁 (2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高 兵 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年)										備 考							
項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
F1.43	F-A	支持構造物																	
		S I S高温側低圧注入ライン、 Aライン 3W-SI-206	V T - 3	類似弁ごと に1台の 7.5%1	1	V T - 3	類似弁ごと に1台の 7.5%1		-										
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン 3W-SI-023A 3W-SI-023B	V T - 3	類似弁ごと に1台の 7.5%1	4	V T - 3	類似弁ごと に1台の 7.5%1		-								3W-SI- 023B	2026年 第28回全 サイクル	2027年 第29回全 サイクル

※1. NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電線その他の欠陥の発生」(令和元年6月5日厚労発第1908051号)の改正版(以下、電線発第1908051号)の施行及び公開合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に關する事業者意見の聴取にかかる委員会」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の評定変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格「JSME S MA1-2012/2013/2014」を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査(1/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画(10か年)										備考 (漏えい区分)						
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル					
		化学体積制御系統																
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	体積制御タンク及び出入ロライン	VT-2	0.11	0.11	VT-2					-	-					○	一部又は全部を気圧により検査 (3-1)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2					-	-	○					(3-2)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2			○		-	-						(3-3)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	抽出ライン(1)	VT-2	15.41	15.41	VT-2					○	-						(3-5)
		抽出ライン(2)	VT-2	2.16	2.16	VT-2					○	-						(3-6)
		抽出ライン(3)	VT-2	0.46	0.46	VT-2						-		○				(3-7)
C7.30 C7.70	C-H	封水戻りライン(PEN#217)	VT-2	0.20	0.20	VT-2		○			-	-						(3-39)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	体積制御タンク入ロライン	VT-2	0.19	0.19	VT-2				○	-	-						(3-8)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	ほう酸タンク出入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2		○			-	-						(3-9)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	ほう酸ポンプ出口ロライン	VT-2	0.71	0.71	VT-2					-	-					○	(3-10)

※1: NRI文書「美浜発電用原子炉及びその附属施設における検査を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出規程)の改正版(以下、亀裂検出規程)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験種等)新規制条件に関する事業者意思の疎放にかかると」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査 (2/8)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第3号機検査計画(10か年)							備考 (漏えい区分)	
								2015年 第21保全 サイクル	2016年 第22保全 サイクル	2017年 第23保全 サイクル	2018年 第24保全 サイクル	2019年 -	2020年 第25保全 サイクル	2021年 第26保全 サイクル		2022年 第27保全 サイクル
			余熱除去系統													
C7.30 C7.50 C7.70	C-H		A-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	2.75	2.75	VT-2									(3-11)
			B-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	2.75	2.75	VT-2									(3-12)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		A-余熱除去ポンプ出ロライン	VT-2	3.56	3.56	VT-2									(3-13)
			B-余熱除去ポンプ出ロライン	VT-2	3.56	3.56	VT-2									(3-14)
			燃料取替用水系統													
C7.30 C7.70	C-H		燃料取替用水タンク出ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2									(3-15)
C7.30 C7.70	C-H		燃料取替用水タンク原子炉キャビタリ運搬ライン(PEN#222)	VT-2	0.14	0.14	VT-2									(3-41)

※1: NRA文書「美浜発電用原子炉及びその附属施設における検査を引き起こす電装その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技発第906051号)の改正版(以下、電装解説NRA文書改正という。)の発行及び公開会「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新編制条件に関する事業者意思の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査 (3/8)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年)										備 考 (漏えい区分)	
							2015年 第21保安 サイクル	2016年 第22保安 サイクル	2017年 第23保安 サイクル	2018年 第24保安 サイクル	2019年 第25保安 サイクル	2020年 第26保安 サイクル	2021年 第27保安 サイクル	2022年 第28保安 サイクル	2023年 第29保安 サイクル	2024年 第30保安 サイクル		
		安全注入系統																
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2	4.22	4.22	VT-2												一部又は全部を気圧により検査 (3-16)
		ほう酸注入タンク及び出入口ライン	VT-2	8.00	8.00	VT-2												(3-17)
		蓄圧タンク注入ライン(PEN#216)	VT-2	4.40	4.40	VT-2												(3-43)
		蓄圧タンクテストライン(PEN#227)	VT-2	6.90	6.90	VT-2												(3-44)
C7.30 C7.70	C-H	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2)	VT-2	8.00	8.00	VT-2												(3-19)
		充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(3)	VT-2	8.00	8.00	VT-2												(3-20)
		充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(4)	VT-2	8.00	8.00	VT-2												(3-21)
		格納容器再循環ポンプ出口ライン(糸線除去ポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2												(3-22)
		格納容器スプレイ系統																
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	よう素除去薬品タンク及び出入口ライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2												一部又は全部を気圧により検査 (3-23)
C7.30 C7.70	C-H	よう素除去薬品タンク出口ライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2												(3-85)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ入口ライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2												(3-24)
		B-格納容器スプレイポンプ入口ライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2												(3-25)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ出口ライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2												(3-26)
		B-格納容器スプレイポンプ出口ライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2												(3-27)
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイポンプ出口ライン	VT-2	1.64	1.64	VT-2												(3-28)
		格納容器再循環ポンプ出口ライン(格納容器スプレイポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2												(3-29)

※1: NRA文書「商用原子炉及びその附属施設における故障を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)の施行及び公開令「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新編制要件」に関する事業者意見の反映にかかると合意(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査(4/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)															
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		
							第21保安 サイクル	第21保安 サイクル	第22保安 サイクル	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	第23保安 サイクル	第24保安 サイクル	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	第27保安 サイクル							
		主給水系統																									
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2																					(3-30)
		B-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2																					(3-31)
		主蒸気系統																									
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器出ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2																					(3-33)
		B-蒸気発生器出ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2																					(3-34)
		1次系補給水系統																									
C7.30 C7.70	C-H	加圧器逆水シタンクPMW供給ライン(PEN#279)	VT-2	0.80	0.80	VT-2																					(3-38)
		1次系補給水ライン(PEN#268)	VT-2	0.60	0.60	VT-2																					(3-86)
		廃棄物処理系統																									
		蓄圧タンク窒素充てみライン(PEN#218)	VT-2	4.40	4.40	VT-2																					一部又は全部を気圧により検査 (3-42)
C7.30 C7.70	C-H	格納容器冷却材ドレンポンプ出ロライン(PEN#225)	VT-2	0.70	0.70	VT-2																					(3-83)
		格納容器サンプポンプ出ロライン(PEN#234)	VT-2	0.15	0.15	VT-2																					(3-84)

※1: IIR文書「発電用原子炉及びその附属施設における感度を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出規程)の改正版(以下、亀裂検出規程)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規検査件に関する事業者間の協議にかかる実告」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査(5/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高圧発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)																	
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年				
							第21保安 サイクル	第21保安 サイクル	第22保安 サイクル	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	第23保安 サイクル	第24保安 サイクル	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	第27保安 サイクル									
		蒸気発生器ブローダウン系統																											
		A-蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#319)	VT-2	4.80	4.80	VT-2			○																				(3-45-1)
	C-H	B-蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#318)	VT-2	4.80	4.80	VT-2			○																				(3-45-2)
		C-蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#317)	VT-2	4.80	4.80	VT-2			○																				(3-45-3)
		試料採取系統																											
		A-蒸気発生器ブローダウンサンプリングライン(PEN#259L)	VT-2	4.80	4.80	VT-2					○																		(3-46-1)
		B-蒸気発生器ブローダウンサンプリングライン(PEN#259M)	VT-2	4.80	4.80	VT-2											○												(3-46-2)
		C-蒸気発生器ブローダウンサンプリングライン(PEN#259R)	VT-2	4.80	4.80	VT-2																	○						(3-46-3)
	C-H	加圧器気相部サンプリングライン(PEN#231R)	VT-2	15.41	15.41	VT-2																			○				(3-60)
		加圧器液相部・Bループ高温側サンプリングライン(PEN#231M)	VT-2	15.41	15.41	VT-2																		○					(3-61)
		Aループ高温側サンプリングライン(PEN#235)	VT-2	15.41	15.41	VT-2																			○				(3-64)
		蓄圧タンクサンプリングライン(PEN#231L)	VT-2	4.40	4.40	VT-2																				○			(3-65)

※1: NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原簿様式第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の取組程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査(6/8)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1	高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)				
			検査方法	運転圧力又は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年 第21保安サイクル	2016年 第22保安サイクル	2017年 第23保安サイクル	2018年 第24保安サイクル	2019年 -	2020年 第24保安サイクル		2021年 第25保安サイクル	2022年 第26保安サイクル	2023年 第27保安サイクル	2024年 第28保安サイクル
		原子炉補給冷却水系統															
		CRDM冷却ユニット他冷却水入ロライン(PEN#313)	VT-2	0.60	0.60	VT-2											(3-56)
		CRDM冷却ユニット他冷却水出ロライン(PEN#314)	VT-2	0.07	0.07	VT-2											(3-57)
		RCP冷却水入ロライン(PEN#312)	VT-2	0.50	0.50	VT-2											(3-58)
		RCP冷却水出ロライン(PEN#311)	VT-2	0.07	0.07	VT-2											(3-59)
		A・B-C/V再循環ユニット冷却水入ロライン(PEN#255)	VT-2	0.60	0.60	VT-2											(3-87)
		A-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#256)	VT-2	0.50	0.50	VT-2											(3-88)
		B-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#257)	VT-2	0.50	0.50	VT-2											(3-89)
		C・D-C/V再循環ユニット冷却水入ロライン(PEN#229)	VT-2	0.60	0.60	VT-2											(3-90)
		C-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#230)	VT-2	0.50	0.50	VT-2											(3-91)
		D-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#232)	VT-2	0.50	0.50	VT-2											(3-92)
		DRPI室冷却ユニット冷却水入ロライン(PEN#274)	VT-2	0.25	0.25	VT-2											(3-93)
		DRPI室冷却ユニット冷却水出ロライン(PEN#275)	VT-2	0.25	0.25	VT-2											(3-94)

※1: DRPI室「実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」(令和元年5月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出用文書改正という。)の発行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規検査中に関する事業者意見の聴取にかかる答言」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラスタ2機器漏えい検査(7/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)							
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年			
							第21保全 サイクル		第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル				
		空気系統																	
C7.30 C7.70	C-H	制御用空気ライン(PEN#260)	VT-2	0.66	0.66	VT-2	○				-							一部又は全部を気圧により検査 (3-74)	
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1)(PEN#262)	VT-2	0.66	0.66	VT-2	○				-							一部又は全部を気圧により検査 (3-75)	
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2)(PEN#284)	VT-2	0.66	0.66	VT-2			○			-							一部又は全部を気圧により検査 (3-76)
		所内用空気供給ライン(PEN#265)	VT-2	0.71	0.71	VT-2			○			-							一部又は全部を気圧により検査 (3-77)
		消火水系統																	
C7.30 C7.70	C-H	消火水ライン(PEN#271)	VT-2	1.30	1.30	VT-2	○				-							(3-78)	
		放熱ガス系統																	
C7.30 C7.70	C-H	CO2消火ライン(PEN#316)	VT-2	4.40	4.40	VT-2					-	○						一部又は全部を気圧により検査 (3-79)	

※1: IAEA文書「電用発電用原子炉及びその附属施設における設備を引き起こす亀裂その他の名前の種類の亀裂」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出規程)の改正版(以下、亀裂検出規程)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の取組程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

3. クラス2機器漏えい検査 (8/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)						
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2018年 第23回全 サイクル	2019年 -	2020年 第24回全 サイクル	2021年	2022年 第25回全 サイクル	2023年 第26回全 サイクル	2024年 第27回全 サイクル	2025年 -	2026年 第28回全 サイクル	2027年 第29回全 サイクル		
		化学体積制御系統																
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2	-	-						-	○			(3-4)
		安全注入系統																
C7.30 C7.70	C-H	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(1)	VT-2	8.00	8.00	VT-2	-	-						-	○			(3-18)
		主給水系統																
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	C-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2	-	-						-		○		(3-32)
		主蒸気系統																
C7.30 C7.70	C-H	C-蒸気発生器出口ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2	-	-						-		○		(3-35)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)の施行及び公開令(「原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等」新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる令台」(令和元年8月5日)の結集(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

クラス3 機器供用期間中検査

1. 余熱除去冷却器(胴側) (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考
							2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3 ※2	1基の7.5%	4	VT-3 ※2	1基の7.5% I	第21保全サイクル				第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% I	A1						-			

※1: NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び原子力規制委員会の「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 2020年7月1日より維持維持 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

2. 格納容器スプレイ冷却器(胴側) (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考
							2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3 ※2	1基の7.5%	4	VT-3 ※2	1基の7.5% I	第21保全サイクル				第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% I				A1			-			

※1: NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び原子力規制委員会の「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 2020年7月1日より維持維持 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

3. 原子炉補機冷却水冷却器 (1/1)

発電用原子炉設備規格 (2008年版) JSME S NA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2013年	2014年	2015年	2016年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3※2	1基の7.5%	8	VT-3※2	1基の7.5% I		第21保全サイクル			第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5%	8	VT-3	1基の7.5% I					A1		-			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及びPSI両会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。
 ※2: 2020年7月1日より維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

4. 非常用ディーゼル発電機冷却水冷却器 (1/1)

発電用原子炉設備規格 (2008年版) JSME S NA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2013年	2014年	2015年	2016年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
D1.10	D-A	胴と補強板との溶接継手	VT-3※2	1基の7.5%	4	VT-3※2	1基の7.5% I		第21保全サイクル			第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% I					A1		-			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及びPSI両会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。
 ※2: 2020年7月1日より維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

5. 非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器 (1/1)

発電用原子炉設備規格 (2008年版) JSME S NA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2013年	2014年	2015年	2016年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
D1.10	D-A	胴と補強板との溶接継手	VT-3※2	1基の7.5%	4	VT-3※2	1基の7.5% I		第21保全サイクル			第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% I							-		A1	A1

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及びPSI両会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。
 ※2: 2020年7月1日より維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

6. 配管 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査の方法及び程度	高圧発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考	
							2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		
D1.20	D-A	配管の支持部材取付け溶接継手	VT-3 ※2	7.5%	78	VT-3 ※2	7.5% 6	第21保全サイクル				第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	2022年	
												1	1	2			1	
F1.31	F-A	原子炉補機冷却海水系統	VT-3 ※2	7.5%	22	VT-3 ※2	7.5% 2	第21保全サイクル				1	1	-				
												1						
		支持構造物																
		原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	414	VT-3	7.5% 32	7			4	8	-	8		5		
		原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	178	VT-3	7.5% 14	3			2	3	-	4		2		

※1：NRA文書「実用蒸気用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解明」（令和元年6月5日原規持発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解明NPA文書改正という）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかわる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格「JSM S NA1-2012/2013/2014」を適用する。

※2：2020年7月1日より維持維持「JSM S NA1-2012/2013/2014」を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

7.原子炉補機冷却水ポンプ（1/1）

発電用原子炉設備規格（2008年版）JSMES NA1-2008※1		高圧発電所第3号機検査計画（10ヵ年）										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2013年	2014年	2015年	2016年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
F1.31	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	1台の7.5%	20	VT-3	1台の7.5% 1					A1		-	-			

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の密接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかわる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格、JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

8. 弁（1／1）

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	高浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）										備考		
							2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年			
F1.31	F-A	支持構造物																	
		原子炉補機冷却水系統																	
		3TCV-2342A	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5%												
		3TCV-2342B																	
		3TCV-2342C																	
		3TCV-2342D																	
		原子炉補機冷却水系統	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5%												
		3V-CC-043																	
		3V-CC-044																	

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂検出NFA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉正力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格「JSMC S NAI-2012/2013/2014」を適用する。

9. クラス3 機器漏えい検査 (1/2)

項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方 法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧 力 MPa	検査方 法	高浜発電所第3号機検査計画（10カ年）										備 考 (漏えい区分)
							2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
		使用済燃料ピット冷却浄化・燃料検査ピット水移送 系統						第21保全 サイクル		第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	2022年 第25保全 サイクル			
D2.30	D-B	使用済燃料ピットポンプ入口ライン	VT-2	0.10	0.10	VT-2	○					-			(4-1)		
D2.10 D2.30	D-B	A-使用済燃料ピットポンプ出口ライン	VT-2	0.59	0.59	VT-2	○					-			(4-2)		
		B-使用済燃料ピットポンプ出口ライン	VT-2	0.59	0.59	VT-2	○					-			(4-3)		
		原子炉補機冷却水系統															
		A,B,C-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2	0.31	0.31	VT-2	○					-			(4-4)		
D2.10 D2.30	D-B	D,E-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2	0.31	0.31	VT-2			○			-			(4-5)		
		原子炉補機冷却水ポンプ出口A供給ライン	VT-2	0.80	0.80	VT-2					○	-			(4-6)		
		原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT-2	0.80	0.80	VT-2					○	-			(4-7)		
		原子炉補機冷却海水系統															
		A-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2					○	-			(4-8)		
D2.10 D2.30	D-B	B-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2					○	-			(4-9)		
		C-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2					○	-			(4-10)		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接
手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

9. クラス3 機器漏えい検査 (2/2)

		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考 (漏えい区分)							
		発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1																	
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方 法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧 力 MPa	検査方 法	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年			
								第21保全 サイクル			第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル		第25保全 サイクル			
		制御用空気系統																	
D2.10 D2.30	D-B	A-格納容器内制御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2							-	○				(4-11)	
		B-格納容器内制御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2							-		○			(4-12)	
		A-格納容器外制御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2							-	○				(4-13)	
		B-格納容器外制御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2							-		○			(4-14)	
		ディーゼル発電機始動用空気系統																	
D2.10 D2.30	D-B	A-ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT-2	2.65	2.65	VT-2							-			○		(4-15)	
		B-ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT-2	2.65	2.65	VT-2							-			○		(4-16)	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

供用期間中特別検査のうちクラス1機器Ni基合金使用部位特別検査

1. 原子炉容器 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)							備考
								2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
—	—	600系Ni基合金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基合金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。)	BMV	100%	50	BMV	100% 50	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
		底部表面 (計測用管台)	BMV	100%	50	BMV	100% 50	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル		

※1: 「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))

※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

供用期間中特別検査のうちクラス2管（原子炉格納容器内）特別検査

項目番号	カテゴリ	NRA文書※1										備考						
		検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2022年 第25保全 サイクル	2023年 第26保全 サイクル	2024年 第27保全 サイクル	2025年 -		2026年 第28保全 サイクル	2027年 第29保全 サイクル	2028年 -	2029年 第30保全 サイクル	2030年 第31保全 サイクル	2031年 第32保全 サイクル
		配管の耐圧部分の溶接継手																
		抽出ライン(3B)	体積	2.5%	1.8	UT	2.5% 5	1	-	1	-	1	-	2				
		充てんライン(3B)	体積	2.5%	6.5	UT	2.5% 1.7	1		4		5		7				(重大事故等クラス2機器)
		再生熱交換器連絡管(3B)																
		抽出ライン連絡管	体積	2.5%	1.2	UT	2.5% 3	1		1		1		1				
		充てんライン連絡管	体積	2.5%	1.2	UT	2.5% 3	1		1		1		1				(重大事故等クラス2機器)

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす確率その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）

原子炉格納容器供用期間中検査

1. 原子炉格納容器(1/1)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考
								2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	
E8.10	E-G	機器搬入口圧力保持用ボルト締付け部	VT-4	25%	72	VT-4	25% 18	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	-	第28保全 サイクル		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規持発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開開会台「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器(1/2)		高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
発電用原子炉設備規格 維持規格(2012年改訂/2013追補/2014追補) JSME S MA1-2012/2013/2014※1				
B1.102	B-A	下部胴の長手溶接継手	体積 可能範囲 各100%	
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積 5% ※2	
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積 5% ※2	
B3.105	B-C	トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体積 5% ※2	
		上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積 可能範囲 100%	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積 可能範囲 各100%	
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積 可能範囲 各100%	
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積 可能範囲 各100%	クラス1 機器供用期間中検査で管理
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積 可能範囲 各100%	
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び表面 可能範囲 各100%	
		冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び表面 可能範囲 各100%	
B6.10	B-G-1	ナット	V T-1 100%	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積 100%	
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積 100%	
B6.50	B-G-1	ワッシャ	V T-1 100%	
B7.10	B-G-2	マーマンカップリング	V T-1 25%	

※1: NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす破損を軽減するための検査計画(2019年度中の計画変更)」を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用し、「5%」は「可能範囲100%」と読み替える。

重大事故等クラス1 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉容器(2/2)

発電用原子炉設備規格 維持規格(2012年改訂版/2013追補/2014追補) JSME S NAI-2012/2013/2014※1		高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3 全範囲の7.5% 各検査時期毎※2	
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3 全範囲の7.5%	
		下部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3 全範囲の7.5%	
G1.50	G-P-2	炉心内部取付物	VT-3 全範囲の7.5%	
		上部炉心支持構造物	VT-3 全範囲の7.5%	
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジングの溶接継手(上部)	VT-3 全範囲の7.5%	クラス1 機器供用期間中検査で管理
		制御棒駆動ハウジングの溶接継手(下部)	VT-3 全範囲の7.5%	
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2 可能範囲100%	
F1.41	F-A	支持構造物 (サポートフレーム、基礎ボルト)	VT-3 25%	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす重大な事象の発生に関する調査報告書(2019年度中の計画変更)」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 2020年7月1日より維持維持 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用し、「全範囲の7.5%」を「全範囲の7.5%」と読み替える。

重大事故等クラス1 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

項目番号		カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	備考
発電用原子力設備規格 維持規格(2012年改版/2013追補/2014追補) JSME S NA1-2012/2013/2014※1						
B2.11	B-B		上部胴と上部鏡板との周継手	体積	5%	
			下部胴と下部鏡板との周継手	体積	5%	
B2.12	B-B		上部胴の長手継手	体積	各10%	
			下部胴の長手継手	体積	各10%	
B2.13	B-B		上部胴と下部胴との周継手	体積	5%	
B3.30	B-D		管台と容器との溶接継手	体積	25%	
B3.40	B-D		管台内面の丸みの部分	体積	25%	
B5.40	B-F		管台とサーフェンドの溶接継手 (呼び径100A以上)			クラス1 機器供用期間中検査で管理
			加圧器逃がし弁管台			
			加圧器安全弁管台	体積及び 表面	25%	
			加圧器スプレイ管台			
		加圧器サージ管台				
B7.20	B-G-2		マンホールの取付けボルト	V T-1	25%	
B8.20	B-H		支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)	表面	7.5%	
B15.20	B-P		圧力保持範囲	V T-2	可能範囲 100%	
F1.41	F-A		支持構造物(スカート、基礎ボルト)	V T-3	25%	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

3. 蒸気発生器(1/1)		高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
発電源原子力設備規格 維持規格(2012年改訂/2013追補/2014追補) JSME S NA1-2012/2013/2014※1				
B2.40	B-B	管板と水室鏡との溶接継手	体積	1基の25%
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分、冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体積	1基の25%
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手、冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手(呼び径100A以上)	体積及び表面	1基の25%
B7.30	B-G-2	1次側マンホールの取付けボルト	VT-1	1基の25%
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲100%
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3	1基の25%
クラス1 機器供用期間中検査で管理				

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接手の試験程度等)新規要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

4. 配管(1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2012年改訂版/2013追補/2014追補) JSME S NAI-2012/2013/2014※1		高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び検査の範囲	
B9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)		
		1次冷却材管 (27.5INID, 836.00mm, 29INID, 31INID) A, B, Cグループ	体積	25%
		加圧器サージ管 (14B, 355.60mm)	体積	25%
		加圧器逃がし弁ライン (6B)	体積	25%
		SIS蓄圧注入ライン (12B, 318.50mm) A, B, Cグループ	体積	25%
B9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)		
		加圧器逃がし弁ライン (3B)	表面	25%
		SIS低溫制御補助注入ライン (2B, 60.50mm) A, B, Cグループ	表面	25%
B9.31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)		
		1次冷却材管 (4B, 6B, 12B, 14B) A, B, Cグループ	体積	25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。
圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

4. 配管(2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2012年改版/2013追補/2014追補) JSME S NAI-2012/2013/2014※1		高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B9.32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)		
		1次冷却材管 (2B, 3B, 63, 50mm) A, B, Cループ SIS低温側低圧注入ライン (2B) A, B, Cループ	表面 表面	25% 25%
B9.40	B-J	ソケット溶接継手 SIS低温側補助注入ライン (2B) A, B, Cループ	表面	25%
B15.50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%
F1.10	F-A	支持構造物		
		加圧器サージ管	VT-3	25%
		加圧器逃がし弁ライン	VT-3	25%
		SIS蓄圧注入ライン A, B, Cループ	VT-3	25%
		SIS低温側低圧注入ライン A, B, Cループ	VT-3	25%
		SIS低温側補助注入ライン A, B, Cループ	VT-3	25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす破断その他の降臨の解釈」(令和元年6月5日原規採発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)、亀裂解釈NRA文書改正という。の施行及び公開適合「(原子炉圧力容器の溶接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

4. 配管(3/3)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考
								2021年 第24保全 サイクル	2022年 第25保全 サイクル	2023年 第26保全 サイクル	2024年 第27保全 サイクル	2025年 —	2026年 第28保全 サイクル	2027年 第29保全 サイクル	
B9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	25%	39	UT	25%	B1	A1	—	B1	A2 C2			
														SIS低温側低圧注入ライン A, B, Cグループ	10

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

5.1 次冷却ポンプ(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2012年改版/2013追補/2014追加) JSME S NA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度
B6.180	B-G-1	スタッドボルト	体積	1台の25%
B6.190	B-G-1	フランジ表面	V T-1	1台の25%
B6.200	B-G-1	ナット	V T-1	1台の25%
		ワシヤ	V T-1	1台の25%
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	V T-3	1
B15.60	B-P	圧力保持範囲	V T-2	可能範囲 100%
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	V T-3	1台の25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

6. 弁(1/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考	
					維持規格(2012年改訂版/2013追補/2014追補) JSME S NA1-2012/2013/2014※1			
B7.70	B-Q-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)	VT-1	類似弁ごとに1台の25%	高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)			
								加圧器逃がし弁ライン 3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054C
								3PCV-455A 3PCV-455B 3PCV-454C
B12.50	B-M-2	SIS蓄圧注入ライン A, B, Cループ 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 136B 3V-SI-134C, 136C	VT-3	類似弁ごとに1	高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)			
								弁本体の内表面
								加圧器逃がし弁ライン 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 136B 3V-SI-134C, 136C
B15.70	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲100%	高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)			
F1.41	F-A	加圧器逃がし弁ライン 3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054C	VT-3	類似弁ごとに1台の25%	高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)			
								支持構造物
								3PCV-455A 3PCV-455B 3PCV-454C

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす機器その他の次臨の解釈」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

6. 井(2/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考
								2021年 第24保全 サイクル	2022年 第25保全 サイクル	2023年 第26保全 サイクル	2024年 第27保全 サイクル	2025年 -	2026年 第28保全 サイクル	2027年 第29保全 サイクル	
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)													
		SIS低温側低圧注入ライン A、B、Cグループ 3V-SI-203A 3V-SI-203B 3V-SI-203C	VT-1	類似井ごとに 1台の25%	42	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似井ごと に1台分 14		3V-SI- 203C 14	-					
B12.50	B-M-2	井本体の内表面													
		SIS低温側低圧注入ライン A、B、Cグループ 3V-SI-203A 3V-SI-203B 3V-SI-203C	VT-3	類似井ごとに 1	3	VT-3	類似井ごとに 1	3V-SI- 203C	-						

※1: NPA文書「商用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解析」(令和元年6月5日原規技発第190605号)の改正版(以下、亀裂解析NPA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる報告」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器 Ni 基金金使用部位特別検査範囲)

1. 原子炉容器 (1 / 1)

項目番号	カテゴリ	NRA文書※1,※2		高浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)		備考
		検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
—	—	600系Ni基金金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基金金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。)			クラス1 機器 Ni 基金金使用部位特別検査で管理	
		底部表面 (計測用管台)	BMV	100%		

※1: 「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))
 ※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規要件に関する事業者意見の聴取にかかるとの会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス1 機器供用期間中検査計画

1. 配管 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考				
								2021年 第24保全 サイクル	2022年 第25保全 サイクル	2023年 第26保全 サイクル	2024年 第27保全 サイクル	2025年 -	2026年 第28保全 サイクル	2027年 第29保全 サイクル	2028年 -	2029年 第30保全 サイクル	2030年 第31保全 サイクル					
C 3.20	C-C	配管の支持部材取付溶接継手 炉心注入シリン(水源トレンチ 代替注水ボンプ出口) (6B)	表面	7.5%	7	P T	7.5% ₁	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
			表面	7.5%	1	P T	7.5% ₁	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			表面	7.5%	3	P T	7.5% ₁	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
			表面	7.5%	35	P T	7.5% ₃	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
			配管の前任部分の溶接継手 (呼び径100Aを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの)																			
C 5.11	C-F	炉心注入シリン(水源トレンチ 代替注水ボンプ出口) (6B)	体積及び表面	7.5%	84	U T P T	7.5% ₇	2	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-		
			体積及び表面	7.5%	24	U T P T	7.5% ₂	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
			体積及び表面	7.5%	92	U T P T	7.5% ₇	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
			体積及び表面	7.5%	115	U T P T	7.5% ₉	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
			配管の前任部分の溶接継手 (呼び径50A以上100A以下で公称肉厚5mmを超えるもの)																			
C 5.21	C-F	炉心注入シリン(一次系建屋) (3B)	表面	7.5%	31	V T-3	7.5% ₃	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
			支持構造物																			
F1.21	F-A	炉心注入シリン(水源トレンチ 代替注水ボンプ出口) (4B、6B)	V T-3	7.5%	76	V T-3	7.5% ₆	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
			V T-3	7.5%	14	V T-3	7.5% ₂	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
			V T-3	7.5%	60	V T-3	7.5% ₅	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
			V T-3	7.5%	191	V T-3	7.5% ₁₅	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
			V T-3	7.5%	13	V T-3	7.5% ₁	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		700ヶ所シリン(よう素700ヶ所入口) (10B、16B、24B)	V T-3	7.5%	23	V T-3	7.5% ₂	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
		700ヶ所シリン(よう素700ヶ所出口) (18B、24B)	V T-3	7.5%	13	V T-3	7.5% ₁	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の検知」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検知NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にか
かる会合」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1 機器供用期間中検査計画

2. 井 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2012年改版/2013追加/2014追加) JSME S NA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2021年 第24保全 サイクル	2022年 第25保全 サイクル	2023年 第26保全 サイクル	2024年 第27保全 サイクル		2025年	2026年 第28保全 サイクル	2027年 第29保全 サイクル	2028年	2029年 第30保全 サイクル	2030年 第31保全 サイクル	
F1.43	F-A	支持構造物																	
		炉心注入ポンプの駆動ポンプ 代替注水ポンプ 出口	VT-3	類似件ごと に1台の 7.5%1	2	VT-3	類似件ごと に1台の 7.5%1			3V-FS-143 1									
		炉心注入ポンプ(一次系建屋) 3V-FS-164	VT-3	類似件ごと に1台の 7.5%1	2	VT-3	類似件ごと に1台の 7.5%1							3V-FS-164 1					
		フィルバシシリン(よう素249出入口) 3V-FV-001 3V-FV-002 3V-FV-003 3V-FV-004	VT-3	類似件ごと に1台の 7.5%1	4	VT-3	類似件ごと に1台の 7.5%1										3V-FV-001 1		

※1: NRA文書「家用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出NRA文書改正という。)の施行及び公開会社「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にか
かる会合」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器 (1 / 2)

発電用原子力設備規格 維持規格 (2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1		高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B1.102	B-A	下部胴の長手溶接継手	体積 可能範囲 各100%	
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積 5% ※2	
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積 5% ※2	
B3.105	B-C	トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体積 5% ※2	
		上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積 可能範囲 100%	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積 可能範囲 各100%	
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積 可能範囲 各100%	
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積 可能範囲 各100%	クラス1 機器供用期間中検査で管理
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積 可能範囲 各100%	
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエントの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び表面 可能範囲 各100%	
		冷却材出口管台とセーフエントの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び表面 可能範囲 各100%	
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1 100%	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積 100%	
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積 100%	
B6.50	B-G-1	ワッシャ	VT-1 100%	
B7.10	B-G-2	マーマンカップリング	VT-1 25%	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす破断その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原規特第1906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程序等) 詳細補題に關する事業者の踴躍にかゝる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

※2: 2020年7月1日より維持維持 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用し、「5%」は「可能範囲100%」と読み替える。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉容器(2/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1		備考
				検査の範囲及び程度		
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3	全範囲の7.5% 各検査時期毎 ※2	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%		
		下部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%		
G1.50	G-P-2	炉心内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%		
		上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の7.5%		
B14.10	B-0	制御機駆動ハウジングの溶接継手(上部)	VT-3	全範囲の7.5%		
		制御機駆動ハウジングの溶接継手(下部)	VT-3	全範囲の7.5%		
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲100%		
F1.41	F-A	支持構造物(サポートフラケット、サポートシュー、基礎ボルト)	VT-3	2.5%		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原研技発第1900051号)の改正版(以下、電裂検察NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

※2: 2020年7月1日より維持維持 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用し、「全範囲の7.5% 各検査時期毎」は「全範囲の7.5%」と読み替える。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

2. 加圧器 (1 / 1)

発電用原子力設備規格 維持規格 (2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1		高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡板との周継手	体積	5%
		下部胴と下部鏡板との周継手	体積	5%
B2.12	B-B	上部胴の長手継手	体積	各10%
		下部胴の長手継手	体積	各10%
B2.13	B-B	上部胴と下部胴との周継手	体積	5%
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積	25%
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体積	25%
B5.40	B-F	管台とセーフティエンドの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び 表面	25%
		加圧器速がし弁管台		
		加圧器安全弁管台		
		加圧器スプレイ管台		
		加圧器サージ管台		
B7.20	B-G-2	マンホールを取付けボルト	VT-1	25%
B8.20	B-H	支持材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)	表面	7.5%
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%
F1.41	F-A	支持構造物 (スカート、基礎ボルト)	VT-3	25%

クラス1 機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1900051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかるとの報告」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

3. 蒸気発生器(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1		高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B2.40	B-B	管板と水室鑄との溶接継手	体積 1基の 25%	
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分、 冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体積 1基の 25%	
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手、 冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び表面 1基の 25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理
B7.30	B-G-2	1次側マンホールの取付けボルト	VT-1 1基の 25%	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2 可能範囲 100%	
F1.41	F-A	支持構造物 (支柱脚、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3 1基の 25%	

※1：MRA文書「専用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解析」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下「亀裂解析MRA文書改正」という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1		高圧発電所第3号 機械検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	
B9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)		
		1次冷却材管 (27.5INID, 836.00mm, 29INID, 31INID) A, B, Cグループ	体積	25%
		加圧器サージ管 (14B, 355, 60mm)	体積	25%
		加圧器安全弁ライン (6B)	体積	25%
		A, B, Cライン		
		加圧器逃がし弁ライン (6B)	体積	25%
		余熱除去ポンプ入口ロライン (12B)	体積	25%
		B, Cグループ		
		SIS蓄圧注入ライン (12B, 318, 50mm)	体積	25%
		A, B, Cグループ		
SIS低温側低圧注入ライン (6B)	体積	25%		
A, B, Cグループ				
B9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)		
		加圧器逃がし弁ライン (3B)	表面	25%
		余熱除去ポンプ入口ロライン (12B)	表面	25%
		B, Cグループ		
CVC S充てんライン (3B, 89, 10mm)	表面	25%		
Bグループ				

クラス1 機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原稿技術系新1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開法令「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1		高圧発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	
B9. 21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)		
		SIS低溫側ほう酸注入ライン (2B, 6B, 50mm) A, B, Cグループ	表面	25%
B9. 31	B-J	母管と管との溶接継手 (呼び径100A以上)		
		1次冷却材管 (4B, 6B, 12B, 14B) A, B, Cグループ	体 積	25%
B9. 32	B-J	母管と管との溶接継手 (呼び径100A未満)		
		1次冷却材管 (2B, 3B, 6B, 50mm) A, B, Cグループ	表面	25%
		糸鋸除去ポンプ入ロライン (12B) B, Cグループ	表面	25%
		SIS低溫側低圧注入ライン (2B) A, B, Cグループ	表面	25%
B9. 40	B-J	ソケット溶接継手		
		SIS低溫側ほう酸注入ライン (2B) A, B, Cグループ	表面	25%

クラス1 機器供用期間中検査で管理

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂診断NRA文書改正という。)の施行及び公開適合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる適合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(3/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1		高圧発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	
B15.50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	クラス1 機器供用期間中検査で管理
		支持構造物		
		加圧器サージ管	VT-3	
		加圧器逃がし弁ライン	VT-3	
		糸鋸除去ポンプ入ロライン B、Cループ	VT-3	
		CVCSS充てんライン Bループ	VT-3	
		SIS蓄圧注入ライン A、B、Cループ	VT-3	
		SIS低温側低圧注入ライン A、B、Cループ	VT-3	
		SIS低温側ほう酸注入ライン A、B、Cループ	VT-3	
F1.10	F-A			

※1 - NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

5. 1次冷却材ポンプ(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSNE S MA1-2008※1		高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び検査の範囲及び程度	
B6.180	B-G-1	スタッドボルト	体 積 1台の25%	
B6.190	B-G-1	フランジ表面	V T - 1 1台の25%	
B6.200	B-G-1	ナット	V T - 1 1台の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		ワッシャ	V T - 1 1台の25%	
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	V T - 3 1	
B15.60	B-P	圧力保持範囲	V T - 2 可能範囲 100%	
F1.41	F-A	支持構造物（支持脚、ベースプレート、基礎ボルト）	V T - 3 1台の25%	

※1： NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電致その他の腐蝕」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSNE S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

6. 弁（1ノ2）

発電用原子力設備規格 維持規格（2008年改訂版） JSME S NA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B7.70	B-6-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)		
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3W-RC-055 3W-RC-056 3W-RC-057	VT-1 類似弁ごとに 1台の25%	
		加圧器逃がし弁ライン 3W-RC-054A 3W-RC-054B 3W-RC-054C	VT-1 類似弁ごとに 1台の25%	
		3PCV-455A 3PCV-455B 3PCV-454C	VT-1 類似弁ごとに 1台の25%	
		CVC5充てんライン Bグループ 3W-CS-233 3W-CS-234	VT-1 類似弁ごとに 1台の25%	
		全熱除去ポンプ入ロライン B, Cグループ 3PCV-420 3PCV-430	VT-1 類似弁ごとに 1台の25%	
		3W-RH-003A 3W-RH-003B	VT-1 類似弁ごとに 1台の25%	
		SIS蓄圧注入ライン A, B, Cグループ 3W-SI-134A, 136A 3W-SI-134B, 136B 3W-SI-134C, 136C	VT-1 類似弁ごとに 1台の25%	
		SIS低温制御注入ライン A, B, Cグループ 3W-SI-202A, 203A 3W-SI-202B, 203B 3W-SI-202C, 203C	VT-1 類似弁ごとに 1台の25%	
		クラス1 機器供用期間中検査で管理		

※1： NRA文書「美用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原研技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)
6. 弁(2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面		
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	3V-RH-003A 3V-RH-003B	類似弁ごとに 1
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	3V-RH-003A 3V-RH-003B	類似弁ごとに 1
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	3V-RH-003A 3V-RH-003B	類似弁ごとに 1
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	3V-RH-003A 3V-RH-003B	類似弁ごとに 1
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	3V-RH-003A 3V-RH-003B	類似弁ごとに 1
B15.70	B-P	加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	3V-RH-003A 3V-RH-003B	類似弁ごとに 1
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	3V-RH-003A 3V-RH-003B	類似弁ごとに 1
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	3V-RH-003A 3V-RH-003B	類似弁ごとに 1
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	3V-RH-003A 3V-RH-003B	類似弁ごとに 1
クラス1 機器供用期間中検査で管理				

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器Ni基金使用部位特別検査範囲）

1. 原子炉容器（1／1）

項目番号	カテゴリ	NRA文書※1、※2		検査の範囲及び程度	検査方法	備考
		検査対象箇所	検査の範囲及び程度			
—	—	600系Ni基金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。)	100%	クラス1機器Ni基金使用部位特別検査で管理		

※1：「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の解釈」(原研技発第1408063号(平成28年8月6日原子力規制委員会決定))

※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より電裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査範囲）

項目番号		NRA文書※1、※2		高浜発電所第3号機検査計画		備考
カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度			
-	配管の耐圧部分の溶接継手			クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査で管理		
	充てんライン（3B）	体積	25%			
	再生熱交換器連絡管（3B）	体積	25%			
	充てんライン連絡管	体積	25%			

※1：「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解説」（原規技発第1408063号（平成26年8月6日原子力規制委員会決定））
 ※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解説」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会社「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1. 格納容器スプレッド冷却器管側 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	高浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)										備考			
			検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの間溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	
C1.20	C-A	管側胴と管側開との間溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%									

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原簿改訂第1906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかるとの答申」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

2. 余熱除去冷却器管側 (1/1)

項目番号		カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	備考
		C-A	管側筒と管側フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	
C1.10		C-A	管側筒と管側筒との溶接継手	体積	1基の7.5%	
C2.21		C-B	管側入口管台及び管側出口管台と管側筒との溶接継手	体積及び表面	7.5%	

高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1： NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす種裂その他の欠陥の検出」（令和元年6月5日原研技発第190051号）の改正版（以下、亀裂検出NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

3. 配管 (1/3)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考										
			検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年					
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手 格納容器再循環サンプ出口ロライン (φ59.0mm) Aライン (格納容器スプレイ系統) 主蒸気大気放出口ライン (φ8.165.20) Aライン	表面	7.5%	2	P T	7.5%		A 1														
			表面	7.5%	1	P T	7.5%								A 1								
C5.11	C-F	配管の肩部分の溶接継手(呼び径100Aを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの) 格納容器再循環サンプ出口ロライン (φ48.355.60mm) Aライン (格納容器スプレイ系統) 格納容器スプレイポンプ入口ロライン (φ48.355.60mm) A、Bライン 主蒸気大気放出口ライン (φ8.165.20) Aライン	体積又は表面	7.5%	6	P T	7.5%																
			体積又は表面	7.5%	24	P T	7.5%								A 1								
		支持構造物	体積又は表面	7.5%	6	P T	7.5%																
			体積又は表面	7.5%	6	P T	7.5%																
F1.21	F-A	S I S高温側低圧注入ロライン 売でん/高圧注入ポンプ入口ロライン 原子炉補機冷却水ポンプ出入口ロライン 格納容器再循環サンプ出口ロライン Aライン (格納容器スプレイ系統) 格納容器スプレイポンプ入口ロライン Aライン 格納容器スプレイポンプ出口ロライン A、Bライン 格納容器スプレイ冷却器出口ロライン A、Bライン 格納容器スプレイ系統蒸気除去系統連絡ロライン 循環代替低圧注水ポンプ出口ロライン 可搬式代替低圧注水ポンプ出口ロライン アンユラス空気浄化ロライン 主蒸気大気放出口ライン	V T-3	7.5%	3	V T-3	7.5%								A 1								
			V T-3	7.5%	22	V T-3	7.5%										1						
			V T-3	7.5%	129	V T-3	7.5%										3						
			V T-3	7.5%	1	V T-3	7.5%													A 1			
			V T-3	7.5%	7	V T-3	7.5%														A 1		
			V T-3	7.5%	10	V T-3	7.5%														A 1		
			V T-3	7.5%	19	V T-3	7.5%														A 1		
			V T-3	7.5%	13	V T-3	7.5%															1	
			V T-3	7.5%	20	V T-3	7.5%															1	
			V T-3	7.5%	2	V T-3	7.5%															1	
			V T-3	7.5%	59	V T-3	7.5%																A 2
			V T-3	7.5%	3	V T-3	7.5%																

※1: NRA文書「専用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす集約その他の欠陥の監視」(令和元年6月5日原研技発第190051号)の改正版(以下、令和元年NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画
 3. 配管（2/3）

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	備考
発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1					
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手			
		余熱除去ポンプ吸入ロライン (318, 30mm, 355, 60mm) A, Bライン	表面	7.5%	
		余熱除去ポンプ出口ロライン (267, 40mm) A, Bライン	表面	7.5%	
		S1S低温側低圧注入ライン (165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン	表面	7.5%	
		S1S低温側ほう酸注入ライン (89, 10mm) 共通ロライン	表面	7.5%	
		売でん/高圧注入ポンプ吸入ロライン (216, 30mm)	表面	7.5%	
		売でん/高圧注入ポンプ出口ロライン (89, 10mm, 114, 30mm)	表面	7.5%	
		1次冷却材管配管側高圧注入ライン (89, 10mm) ほう酸注入タンク出口側	表面	7.5%	
		格納容器再循環ポンプ出口ロライン (355, 60mm) A, Bライン(余熱除去系統)	表面	7.5%	
		配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径100mmを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの)			
C5.11	C-F	余熱除去ポンプ吸入ロライン (128, 148, 318, 50mm, 355, 60mm) A, Bライン	体積又は表面	7.5%	
		S1S低温側低圧注入ライン (88, 108, 165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン	体積及び表面	7.5%	
		格納容器再循環ポンプ出口ロライン (148, 355, 60mm) A, Bライン(余熱除去系統)	体積又は表面	7.5%	

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1: MRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす種別その他の次臨の監視」(令和元年6月5日原研技発第1900051号)の改正版(以下、種別監視MRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

3. 配管 (3 / 3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度
C5.21	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50A以上100A以下で公称肉厚8mmを超えるもの)		
		SIS低温側ほう酸注入ライン (2B, 3B, 60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン	表面	7.5%
C5.30	C-F	充てん/高圧注入ポンプ出口ライン (3B, 4B, 89, 10mm)	表面	7.5%
		配管の耐圧部分の溶接継手(ソケット溶接継手)		
C5.41	C-F	SIS低温側ほう酸注入ライン (2B) A, B, Cライン	表面	7.5%
		配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50Aを超える、母管と管台及び母管と枝管)		
F1.21	F-A	充てん/高圧注入ポンプ出口ライン (3B)	表面	7.5%
		支持構造物		
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ出口ライン A, Bライン	VT-3	7.5%
		余熱除去ポンプ出口ライン A, Bライン	VT-3	7.5%
		SIS低温側低圧注入ライン A, B, Cライン	VT-3	7.5%
		SIS低温側ほう酸注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%
		格納容器再循環サンブ出口ライン A, Bライン(余熱除去系統)	VT-3	7.5%

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「発電用原子力設備規格及びその附属規格における破壊を引き起こす集約その他の欠陥の監視」(令和元年6月5日原研特発第1900051号)の改正版(以下「発電用原子力設備規格」)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を採用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
 4. 格納容器スプレッドポンプ(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法		検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考
			検査方法	検査の範囲及び程度					2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
C6.10	C-6	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	1台の7.5%	4	P T	1台の7.5% 1	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル		
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	V T-3	1台の7.5%	1台の7.5%	4	V T-3	1台の7.5% 1	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	A 1	-	-	-	-	-	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の診断」(令和元年6月5日原燃発第190651号)の改正版(以下、亀裂診断NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
5. 余熱除去ポンプ（1/1）

発電用原子力設備規格 維持規格（2008年版） JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	
06.10	C-6	ケーシングの溶接継手	表面 1台の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	V T-3 1台の7.5%	

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」（令和元年6月5日原研発第1906051号）の改正版（以下、亀裂検出NVA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかるとる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

6. 原子炉補機冷却水ポンプ（1/1）

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	高浜発電所 第3号機 検査計画（10カ年）										備考
							2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	V T - 3	1台の7.5%	1 2	V T - 3	1台の7.5%	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	A 1	対象はA、B、C原子炉補機冷却水ポンプ

※1：NRA文書「運用要項用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす可能性のある場合」（令和元年5月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2：NRA文書「運用要項用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす可能性のある場合」（令和元年5月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
7. 恒設代替低圧注水ポンプ（1／1）

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高圧発電所第3号機検査計画（10カ年）										備考
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
F1.43	F-A	ポンプの台枠脚	V T - 3	1台の7.5%	2	V T - 3	1台の7.5% 1	第21保安サイクル	第22保安サイクル	第23保安サイクル	-	第24保安サイクル	第25保安サイクル	第26保安サイクル	第27保安サイクル	1		

※1：NRA文書「常用発電用原子炉及びその附属施設における腐蝕を引き起こす亀裂その他の名称の腐蝕」（令和元年6月5日原燃発第1906051号）の改正版（以下、亀裂発現NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の議案（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画
8. 弁（1/2）

項目番号		高浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）												備考					
カテゴリ		発電用原子力設備規格 維持規格（2008年版） JSME S NA1-2008※1																	
検査対象箇所		検査の方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査の方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年			
F1.43	F-A	支持構造物 原子炉補機冷却水ポンプ出入口ライン 3V-TCV-2342A 3V-TCV-2342B 格納容器スプレイ系統蒸気隔離系統 連絡ライン 3V-RH-100 3V-RH-101 主蒸気大気放出口ライン 3V-PCV-3610 3V-PCV-3620 3V-PCV-3630	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%												
			VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%												
			VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	6	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%												

※1： NRA 文書「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電設その他の欠陥の発見」（令和元年6月5日原簿発表第1906051号）の改正版（以下、「電設発見NRA文書改正」という。）の施行及び公開台帳「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる台帳」（令和元年6月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を勘まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
8. 弁 (2 / 2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	備考
F1.43	F-A	支持構造物			クラス2機器供用期間中検査で管理
		余熱除去ポンプ吸入ライン A、Bライン	VT-3	類似井ごと に1台の 7.5%	
		余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン	VT-3	類似井ごと に1台の 7.5%	
		余熱除去ポンプ吸入ライン A、Bライン	VT-3	類似井ごと に1台の 7.5%	
		余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン	VT-3	類似井ごと に1台の 7.5%	
		余熱除去ポンプ吸入ライン A、Bライン	VT-3	類似井ごと に1台の 7.5%	
		余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン	VT-3	類似井ごと に1台の 7.5%	
		SIS低温側低圧注入ライン A、Cライン	VT-3	類似井ごと に1台の 7.5%	
		SIS低温側ほう酸注入ライン 3W-SI-042A 3W-SI-042B	VT-3	類似井ごと に1台の 7.5%	
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン 3W-SI-023A 3W-SI-023B	VT-3	類似井ごと に1台の 7.5%	

※1：NRA文書「東海発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の発現」（令和元年6月5日原研技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂発現NRA文書改正という。）の施行及び公開会社「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程
度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会社」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画
9. クラス2 機器漏えい検査 (1/4)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高圧発電所第3号 機 検 査 計 画 (10カ年)										備 考 (漏えい区分)	
							2015年 第21検査 サイクル	2016年 第22検査 サイクル	2017年 第23検査 サイクル	2018年 第24検査 サイクル	2019年 第25検査 サイクル	2020年 第26検査 サイクル	2021年 第27検査 サイクル	2022年 第28検査 サイクル	2023年 第29検査 サイクル	2024年 第30検査 サイクル		
		化学体積制御系統																
G730 G770	C-H	体積制御タンク及び出入口ライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2												(SA-1)
G710 G730 G750 G770	C-H	A-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2												(SA-2)
G730 G750 G770	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2												(SA-3)
G730 G750 G770	C-H	C-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2												(SA-4)
G730 G770	C-H	ほう酸タンク出入口ライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												(SA-5)
G710 G730 G750 G770	C-H	ほう酸ポンプ出口ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2												(SA-6)
G730 G770	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん/高圧注 入ポンプ出口側)	VT-2	18.8	18.8	VT-2												(SA-7)
G730 G770	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん/高圧注 入ポンプ入口側)	VT-2	1.4	1.4	VT-2												(SA-8)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす機器その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、発現解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制
資料に関する事業者意見の聴取にかかる報告」(令和五年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画
9. クラス2機器漏えい検査 (2/4)

項目番号	カテゴリ	検査範囲 漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高圧発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)	
							2015年 第21検査 サイクル	2016年 第22検査 サイクル	2017年 第23検査 サイクル	2018年 第24検査 サイクル	2019年 第25検査 サイクル	2020年 第26検査 サイクル	2021年 第27検査 サイクル	2022年 第28検査 サイクル	2023年 第29検査 サイクル	2024年 第30検査 サイクル		
		余熱除去系統																
G730 G750 G770	C-H	A-余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2												(SA-9)
		B-余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2												(SA-10)
G710 G730 G750 G770	C-H	A-余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2												(SA-11)
		B-余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2												(SA-12)
		燃料取替用水系統																
G730 G770	C-H	燃料取替用水タンク出口ライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												(SA-13)
		安全注入系統																
G710 G730 G770	C-H	蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2	4.9	4.9	VT-2												(SA-14)
		ほう酸注入タンク及び出入口ライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2												(SA-15)
G730 G770	C-H	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2)	VT-2	17.16	17.16	VT-2												(SA-16)
		格納容器再循環ポンプ出口ライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	4.1	4.1	VT-2												(SA-17)

※1: NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における耐震を引き起こす免震の相の名称の整理」(令和元年6月5日原簿は発第1006051号の改正版(以下、免震野原A文書改正という。))の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012, 2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画

9.1 クラス2 機器漏えい検査 (3/4)

項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高圧発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)		
							2015年 第21回全 サイクル	2016年 第22回全 サイクル	2017年 第23回全 サイクル	2018年 第24回全 サイクル	2019年 第25回全 サイクル	2020年 第26回全 サイクル	2021年 第27回全 サイクル	2022年 第28回全 サイクル	2023年 第29回全 サイクル	2024年 第30回全 サイクル			
		格納容器スプレイ系統																	
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2													(SA-18)
		B-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2													(SA-19)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2													(SA-20)
		B-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2													(SA-21)
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2													(SA-22)
		格納容器再循環サンパ出ロライン(格納容器スプレイポンプ側)	VT-2	0.283	0.283	VT-2													(SA-23)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	恒設代替低圧注水ポンプ入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2													(SA-24)
		恒設代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2													(SA-25)
C7.30 C7.70	C-H	可搬式代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2													(SA-26)
		換気制御装置系統																	
C7.30 C7.70	C-H	アニュラス空気浄化ライン	VT-2	0.01	0.01	VT-2													(SA-27)
		中央制御室換気空調設備入ロライン	VT-2	-0.00392	-	(*)1													(SA-56)
C7.30	C-H	中央制御室換気空調設備出ロライン	VT-2	0.00392	-	(*)1													(SA-57)

※1: NRA文書「運用用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1
 要件に関する事業者意見の取扱いにかかわる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 (*1) 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施
 (*2) 分割して外観点検を実施

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画

9. クラス2機器漏えい検査 (4/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 (2008年版) JSME S MAI-2008※1		高 浜 発 電 所 第 3 号 機 械 検 査 計 画 (10カ年)										備 考 (漏えい区分)						
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第21保全 サイクル	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル				
		試料採取系統																
C730 C770	C-H	格納容器ガスサブリング入口ライン	VT-2	0.350	0.350	VT-2										○		(SA-58)
		格納容器ガスサブリング戻りライン	VT-2	0.350	0.350	VT-2										○		(SA-59)
		原子炉補給冷却水系統																
C710 C730 C750 C770	C-H	A、B、C-原子炉補給冷却水ポンプ入口ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2										○		(SA-42)
		原子炉補給冷却水ポンプ出口A供給ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2									○			(SA-43)
		原子炉補給冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2								○				(SA-44)
C730 C770	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(原子炉補給冷却水側)	VT-2	0.98	0.98	VT-2								○				(SA-45)
		空気系統																
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1)	VT-2	0.98	0.98	VT-2							○					(SA-53)
C730 C770	C-H	制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2)	VT-2	0.98	0.98	VT-2							○					(SA-54)
		アニュラスタンバ作動用窒素供給ライン	VT-2	0.83	0.83	VT-2					○							(SA-55)
		補助水系統																
C730 C750 C770	C-H	燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ出口ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2					○							(SA-40)

※1: NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における名称変更を引き起こす発電所の名称の経緯の経緯」(令和元年6月5日原燃発送第1906051号)の改正版(以下、発電所NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MAI-2012、2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1.0. 原子炉補機冷却水冷却器脚部 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考	
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
C1.10	C-A	銅脚と胴側フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%	第21保全サイクル	-	-	第22保全サイクル	-	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
		銅脚間の周溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%												
C3.10	C-C	胴と当接との溶接継手	表面	1基の7.5%	4	PT	1基の7.5%									A1			対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
F1.43	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5%									A1			対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器

※1: NRA文書「美用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす腐蝕その他の欠陥の検出」(令和元年8月5日原燃技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出NRA文書改正という。)の施行及び公開学会「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に因する事業者意見の聴取にかかる委員会」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1.1. クラス2機器漏えい検査 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高圧発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
		主給水系統															
		A-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-						
		B-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-						
		C-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-						
		主蒸気系統															
		A-蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-						
		B-蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-						
		C-蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-						
		補助給水系統															
		タービン動補助給水ポンプ蒸気ライン	VT-2	8	8	VT-2					-						
		タービン動補助給水ポンプ・燃料取替用水タンク用移送ポンプ入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					-						
		タービン動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	12.3	VT-2					-						
		電動補助給水ポンプ入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					-						
		電動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	12.3	VT-2					-						
		補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	8.6	8.6	VT-2					-						
		2次系補助給水系統															
		復水タンク給水ライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2					-						

※1: NIA文書「東電原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原簿様式第1906051号)の改正版(以下、亀裂検察NIA文書改正という。)の旅行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の取除程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
 1.1. クラス2機器漏えい検査 (2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1		高圧発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)						
項目 番号	カテゴリ	検査方法	検査範囲 ライン名称	検査方法	S.A.使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年 第21保全 サイクル	2016年 第22保全 サイクル	2017年 第23保全 サイクル	2018年 第24保全 サイクル	2019年 -	2020年 第24保全 サイクル	2021年	2022年 第25保全 サイクル	2023年 第26保全 サイクル	2024年 第27保全 サイクル	
			原子炉補機冷却海水系統															
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	VT-2	A-海水ポンプ出口ライン(海水ストレーナー入口)	VT-2	0.7	0.7	VT-2								○			(SA-46)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	VT-2	A-海水ポンプ出口ライン(A原子炉補機冷却水冷却器海水出入口ライン)	VT-2	1.2	1.2	VT-2								○			(SA-47)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	VT-2	A-海水ポンプ出口ライン(B原子炉補機冷却水冷却器海水出入口ライン)	VT-2	0.7	0.7	VT-2								○			(SA-48)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	VT-2	B-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2									○		(SA-49)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	VT-2	C-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2									○		(SA-50)
C7.30 C7.70	C-H	VT-2	A,B原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2								○			(SA-51)
			C,D原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2									○		(SA-52)
			ディーゼル発電機始動用空気系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	VT-2	A-ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT-2	3.2	3.2	VT-2								○			(SA-60)
			B-ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT-2	3.2	3.2	VT-2								○			(SA-61)

※1: NRA文書「(実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出) (令和元年6月5日版) 維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。」の施行及び公開令「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験種別等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (原子炉格納容器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉格納容器 (1 / 1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	試験数検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所 第3号 機械検査計画 (10カ年)										備考
							2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
E8.10	E-G	機器輸入口圧力保持用ボルト締付け部	VT-4	25%	72	VT-4	18	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル			

※1. NRA文書(常用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす脆弱その他の欠陥の検出)(令和元年6月5日原規持基第1908051号)の改正版(以下、亀裂検線NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意識の醸成にかかわる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規程「JSME S MA1-2012/2013/2014」を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1	高圧発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)				
			検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年		2021年	2022年	2023年	2024年
		漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法														
		原子炉補機冷却水系統															
D2.30	D-B	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ出入ロライン	VT-2	0.33	0.33	VT-2											
D2.10	D-B	原子炉補機冷却水サージタンク加圧用窒素ポンベ	VT-2	14.7	14.7	VT-2											
D2.30	D-B	原子炉補機冷却水サージタンク加圧用窒素供給ライン	VT-2	17.16	17.16	VT-2											
D2.30	D-B	A-ガスサンブル冷却水屋外排水ライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											
		制御用空気系統															
D2.10	D-B	A-ニコラスタンバ作動用窒素ポンベ	VT-2	14.7	14.7	VT-2											
D2.30	D-B	A-ニコラスタンバ作動用窒素供給ライン	VT-2	0.83	0.83	VT-2											
		試料採取系統															
D2.30	D-B	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置及び可搬型格納容器水素濃度計測装置供給ライン	VT-2	0.5	0.5	VT-2											

※1: NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす可能性のある設備の定期検査(以下、定期検査)の改正版(以下、定期検査NRA文書改正という。)の施行及び公開会合(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年6月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
 1. クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高圧発電所第3号機検査計画（10カ年）										備考 （漏えい区分）
							2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
D2.30	D-B	大容量ポンプ放水砲用(3・4号機共用)(2台)	VT-2	1.05	1.05	VT-2	第21号保安サイクル	-	-	-	-	第24号保安サイクル	第25号保安サイクル	第26号保安サイクル	第27号保安サイクル		
D2.10	D-B	大容量ポンプ(放水砲用)燃料タンク(3・4号機共用)(2基)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											※当該設備の燃料油にて実施。
D2.30	D-B	大容量ポンプ(3・4号機共用)(3台)	VT-2	1.00	1.00	VT-2											
D2.10	D-B	大容量ポンプ燃料タンク(3・4号機共用)(3基)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											※当該設備の燃料油にて実施。
D2.30	D-B	放水砲(3・4号機共用)(3台)	VT-2	1.0	1.0	VT-2											
D2.30	D-B	大容量ポンプ入ロライン放水砲用20m、10m、5mホース(3・4号機共用)	VT-2	0.25	0.25	VT-2							○ 3本	○ 8本			
D2.30	D-B	大容量ポンプ出ロライン放水砲用50m、10m、5mホース(3・4号機共用)	VT-2	1.05	1.05	VT-2							○ 12本	○ 4本	○ 3本		
D2.30	D-B	大容量ポンプ入ロライン送水用20m、10m、5mホース(3・4号機共用)(19本)	VT-2	0.25	0.25	VT-2							○ 5本	○ 5本	○ 5本		
D2.30	D-B	大容量ポンプ出ロライン送水用50m、10m、8m、5m、3m、2m、1mホース(67本)	VT-2	1.00	1.00	VT-2							○ 10本	○ 17本	○ 24本		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす機器その他の欠陥の発見」（令和元年6月5日原簿採集第1906051号）の改正版（以下、亀裂検出NMA文書改正という。）の施行及び公附台T（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかると念台」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、亀裂検出NMA文書改正の施行（令和元年6月5日）後は、維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
 1. クラス3機器漏えい検査

検査用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008 ※1		高圧発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	
D2.30	D-B	送水車(3台)	VT-2	1.22	1.22	VT-2	-	-	-	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	第28保安 サイクル	-	第29保安 サイクル	第30保安 サイクル	
D2.10	D-B	送水車燃料タンク(3基)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2	-	-	-	○ 3基	○ 3基			-			※当該設備の燃料油にて実施。
D2.30	D-B	送水車送水用50mホース(65本)	VT-2	1.22	1.22	VT-2	-	-	-		○ 32本	○ 32本	○ 32本	-	-	-	
D2.30	D-B	送水車送水用20 mホース(7本)	VT-2	1.22	1.22	VT-2	-	-	-		○ 3本	○ 3本	○ 3本	-	-	-	

※1：MRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出MRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程序等) 新規制要件」に関する事業者意見の聴取にかかると「(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)」を踏まえ、亀裂検出MRA文書改正の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008 ※1		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル				
D2.30	D-B	可換式代替低圧注水ポンプ(3台)	VT-2	1.47	1.47	VT-2									○ 3台		
D2.30	D-B	可換式代替低圧注水ポンプ～可換式代替低圧注水ポンプ出口接続口(3本)	VT-2	1.47	1.47	VT-2									○ 3本		
D2.30	D-B	可換式代替低圧注水ポンプ吸水用3mホース(3本)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2									○ 3本		
D2.10	D-B	仮設組立式水槽(3基)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2									○ 3基		
D2.30	D-B	可換式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース(フランジ継手なし)(12本)	VT-2	1.47	1.47	VT-2								○ 4本	○ 4本	○ 4本	

※1： NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、亀裂解釈NRA文書改正の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

項目番号		高圧発電所第3号機検査計画(10年間)											備考 (漏えい区分)			
カテゴリ		発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008 ※1														
漏えい検査範囲 ライン名称		検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
D2.10	D-B	タンクローリー(3・4号機共用)(3台)	VT-2	20kPa	VT-2	第21号機 サイクル		第21号機 サイクル	第22号機 サイクル	-	第24号機 サイクル	第24号機 サイクル	第25号機 サイクル	第26号機 サイクル	第27号機 サイクル	
D2.30	D-B	タンクローリー給油ライン接続用30m、20mホース(3・4号機共用)(3本)	VT-2	1.0	VT-2					-			○ 1本	○ 1本	○ 1本	
D2.30	D-B	タンクローリー給油ライン接続用20mホース(燃料油用)(3・4号機共用)(4本)	VT-2	0.78	VT-2					-			○ 2本		○ 2本	
D2.30	D-B	タンクローリー給油ライン接続用5mホース(空冷式非常用兼電装用) (迅速流体継手、ねじ込み継手)(3・4号機共用)(RHB-1)(6本)	VT-2	0.39	VT-2					-			○ 1本	○ 3本	○ 2本	

※1. NIA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1900051号)の改正版(以下、亀裂解釈NIA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる報告」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)、亀裂解釈NIA文書改正の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格（2008年版）JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画（10カ年）										備考 （漏えい区分）					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年 第21保安 サイクル	2016年 第22保安 サイクル	2017年 第23保安 サイクル	2018年 第24保安 サイクル	2019年 -		2020年 第24保安 サイクル	2021年 第25保安 サイクル	2022年 第25保安 サイクル	2023年 第26保安 サイクル	2024年 第27保安 サイクル
		非常用電源															
D2.10	D-B	燃料タンク(3A電源車)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2									○		
D2.10	D-B	燃料タンク(3B電源車)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2									○		
D2.10	D-B	燃料タンク(3A電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	VT-2	大気圧	水張り	VT-2									○		
D2.10	D-B	燃料タンク(3B電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	VT-2	大気圧	水張り	VT-2									○		

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008 (ID-2500) ※1	検査内容				高浜発電所第3号機 検査計画(10か年)										備考 (漏えい区分)	
			漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時の 圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	2015年 第21保全 サイクル	2016年 第22保全 サイクル	2017年 第23保全 サイクル	2018年 第24保全 サイクル	2019年 第25保全 サイクル	2020年 第26保全 サイクル	2021年 第27保全 サイクル	2022年 第28保全 サイクル	2023年 第29保全 サイクル		2024年 第30保全 サイクル
			抑制用空気系統															
D2.10	D-B		3窒素ポンプ(加圧器逃がし弁作動用)(A系用)	VT-2	14.7	14.7	VT-2											(SA3-1)
D2.10	D-B		3窒素ポンプ(加圧器逃がし弁作動用)(A系用予備)	VT-2	14.7	14.7	VT-2											(SA3-2)
D2.10	D-B		3窒素ポンプ(加圧器逃がし弁作動用)(B系用)	VT-2	14.7	14.7	VT-2											(SA3-3)
D2.10	D-B		3窒素ポンプ(加圧器逃がし弁作動用)(B系用予備)	VT-2	14.7	14.7	VT-2											(SA3-4)
D2.30	D-B		3加圧器逃がし弁A系用窒素マニホールド	VT-2	17.16	17.16	VT-2							○				(SA3-5)
					0.98	0.98	VT-2							○				(SA3-6)
D2.30	D-B		3加圧器逃がし弁B系用窒素マニホールド	VT-2	17.16	17.16	VT-2							○				(SA3-7)
					0.98	0.98	VT-2							○				(SA3-8)
D2.30	D-B		3加圧器逃がし弁窒素マニホールド(予備)	VT-2	17.16	17.16	VT-2							○				(SA3-9)
					0.98	0.98	VT-2							○				(SA3-10)
D2.30	D-B		3加圧器逃がし弁抑制用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(A系用30m)	VT-2	0.98	0.98	VT-2							○				(SA3-11)
D2.30	D-B		3加圧器逃がし弁抑制用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(B系用8m)	VT-2	0.98	0.98	VT-2							○				(SA3-12)
D2.30	D-B		3加圧器逃がし弁抑制用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(30m予備)	VT-2	0.98	0.98	VT-2							○				(SA3-13)
D2.30	D-B		3加圧器逃がし弁抑制用空気ライン空気供給用 20m、15mホース(A系用15m)	VT-2	0.98	0.98	VT-2							○				(SA3-14)
D2.30	D-B		3加圧器逃がし弁抑制用空気ライン空気供給用 20m、15mホース(B系用20m)	VT-2	0.98	0.98	VT-2							○				(SA3-15)
D2.30	D-B		3加圧器逃がし弁抑制用空気ライン空気供給用 20m、15mホース(20m予備)	VT-2	0.98	0.98	VT-2							○				(SA3-16)

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす事象その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原簿持続第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出NRA文書改正という。)の施行及び公開会「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度)新継手に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、亀裂検出NRA文書改正の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S NA1-2012/2017/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査

項目番号		発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME)		高圧発電所 第4号 機械検査計画 (10カ年)										備考 (漏えい区分)					
		検査方法	検査圧力 MPa	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年						
		漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	第21号 サイクル	-	-	-	-	-	-	-	-	第25号 サイクル	第26号 サイクル	第27号 サイクル	
		SFPスプレイス系統																	
D2.30	D-B	スプレイスヘッド(A)	VT-2	1.4	1.4	VT-2	第22号 サイクル	-	-	-	-	-	-	-	-	第24号 サイクル			SA3-1
D2.30	D-B	スプレイスヘッド(B)	VT-2	1.4	1.4	VT-2	第22号 サイクル	-	-	-	-	-	-	-	-				SA3-2
D2.30	D-B	スプレイスヘッド(1~4u共用予備)	VT-2	1.4	1.4	VT-2	第22号 サイクル	-	-	-	-	-	-	-	-				SA3-3

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高圧発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)				
項目 番号	カテゴリー	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年 第21回保全 サイクル	2016年 第22回保全 サイクル	2017年 第22回保全 サイクル	2018年 第22回保全 サイクル	2019年 -		2020年 第24回保全 サイクル	2021年 第25回保全 サイクル	2022年 第25回保全 サイクル	2023年 第26回保全 サイクル
D2.10	D-B	空気供給装置(1・2・3・4号機共用)	VT-2	19.6	19.6	VT-2					-			○	○	○
		マニホールド(空気供給装置用)(1・2・3・4号機共用)														
D2.30	D-B	容器弁～集合管～充填口	VT-2	19.6	19.6	VT-2					-		○		○	○
D2.30	D-B	充填口～カートリッジ入りユニット入口弁 ～空気供給装置(減圧弁1次側接続口)	VT-2	19.6	19.6	VT-2					-		-		○	
D2.30	D-B	空気供給装置(減圧弁1次側)	VT-2	19.6	19.6	VT-2					-		-		○	
D2.30	D-B	減圧弁2次側配管	VT-2	0.46	0.46	VT-2					-		-		○	
D2.30	D-B	ホース(空気供給装置用)(1・2・3・4号機共用)	VT-2	1.0	1.0	VT-2					-		-		○	

供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査

供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査（大飯発電所3号機加圧器スプレイライン配管溶接部の有意な欠陥指示に対する対応）

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画			備 考
								2022年 第25保全 サイクル	2023年 第26保全 サイクル	2024年 第27保全 サイクル	
		配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)									
		加圧器サージ管 (14B, 355, 60mm)	体積	100% ₁	1	UT	100% ₁	1	1		
		加圧器スプレイライン (4B, 144, 30mm) Aグループ	体積	100% ₁	1	UT	100% ₁	A1	A1		
		余熱除去ポンプ入口ライン (12B) Cグループ	体積	100% ₂	2	UT	100% ₂	C2	C2		
		SIS蓄圧注入ライン (12B, 318, 50mm) A, B, Cグループ	体積	100% ₄	4	UT	100% ₄	A1 B2 C1	A1 B2 C1		
		SIS高温側低圧注入ライン (6B, 165, 20mm) A, Bグループ	体積	100% ₂	2	UT	100% ₂	A1 B1	A1 B1		
		SIS低温側低圧注入ライン (6B) A, Bグループ	体積	100% ₃	3	UT	100% ₃	A1 B2	A1 B2		
		SIS高温側補助注入ライン (4B, 6B) Cグループ	体積	100% ₁	1	UT	100% ₁	C1	C1		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）及び維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。